

SONY®

4-482-367-12 (1)

カラービデオプロジェクター
COLOR VIDEO PROJECTOR

VPH-600QJ/600Q/600QM

取扱説明書 2ページ

お買い上げいただき、ありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、
必ず保存してください。

OPERATING INSTRUCTIONS page 14

Before operating the set, please read this manual thoroughly, and retain it for future reference.

Installation and preliminary adjustments should be performed by qualified Sony personnel.

MODE D'EMPLOI page 26

Avant la mise en service de cet appareil, prière de lire attentivement ce mode d'emploi et le conserver pour toute référence ultérieure.

Installation et réglages préliminaires doivent être accomplis par un personnel Sony qualifié.

BEDIENUNGSANLEITUNG Seite 38

Vor der Inbetriebnahme lesen Sie diese Anleitung sorgfältig durch, und bewahren Sie sie zum späteren Nachschlagen auf.

Aufstell- und Abgleicharbeiten sind von einem Sony-Fachmann durchzuführen.

OWNER'S RECORD

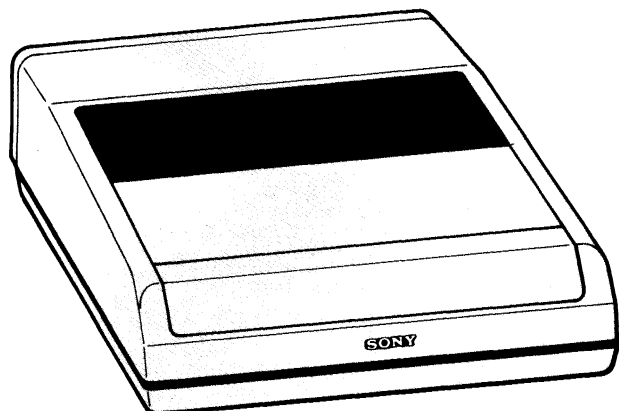
The model and serial numbers are located at the left side. Record these numbers in the spaces provided below. Refer to them whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No. VPH-600Q _____ Serial No. _____

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the set to rain or moisture.

Dangerously high voltages are present inside the set. Do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.



HI-RESOLUTION 900

目次

主な特長	2
お使いになる前に	3
設置例	4
各部の名称と働き	5
システムアップ組み合わせ	8
位置決めとレジストレーション調整	10
操作	11
主な仕様	12
保証書とアフターサービス	13

この取扱説明書は、カラービデオプロジェクター VPH-600QJ、600Q、600QMの3機種に共通のものです。機種間の違いは次の表のとおりです。性能や操作方法はまったく同じです。日本国内でお使いいただけるのは VPH-600QJ です。

	VPH-600QJ	VPH-600Q	VPH-600QM
使用電源電圧	AC100V	AC120V	AC220-240V
電源コード プラグ	プラグ付き	プラグ付き	プラグなし

主な特長

高解像度 —— 900本

シャープな画像が得られる新開発の電子銃と、色の再現をより効果的にする着色液冷管、また、画面中央部はもちろん、すみずみまで最適なフォーカスをつくり出すダブルフォーカスレンズシステムを採用、レンズ自体も軽量アクリルレンズと、光学的に優れたガラスレンズ双方の特長を活かしたハイブリッドレンズを使用しています。このため、解像度は900本まで向上し、キメの細かいシャープな画像でお楽しみいただけます。

高輝度 —— 300ルーメン

これまでより発光効率の良い新蛍光体と、大電流特性が大幅に向上した新電子銃を採用しました。明るくシャープな画像が得られます。

ハイ・コントラスト

ブラウン管表示とレンズに、無反射コーティングをして、不必要な光の反射をおさえました。質の高い画像コントラストをお楽しみください。

設置は机・天井・床と自由自在

会場の広さや明るさ、使用目的などに応じて、最適の設置場所をお選びいただけます。

小型・軽量のポータブルなプロジェクター

内部機構の改良と新技術の採用により、電源部とコントロール部を一体化。性能を向上させながら、コンパクト化を実現しました。

4つのカラー方式 (NTSC, PAL, SECAM, NTSC_{4.43}) に対応

コンピューター対応機能

コンピューターのRGB出力信号も、高画質でムラのない画像に再現します。

ブルーモードセレクト機構

判読しにくい文字もスイッチ操作だけでシャープに見えます。

お使いになる前に

安全上のご注意

電源について

家庭用電源コンセント(AC100V)につないでご使用ください。

異物について

内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや、金属類を落とさないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障、事故の原因となります。

感電を防ぐために

キャビネットは絶対にあけないでください。内部には電圧の高い部分があり、手を触れると危険です。

電源コードについて

- 電源コードを無理に曲げたり、上に重い物を載せたりしないでください。コードに傷がついて、火災や感電の原因になります。
傷がついたコードは使わないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。

異常や不具合が起きたら

万一、異常や不具合が起きたとき、異物が中に入ったときは、電源コードを必ずコンセントから抜いて、すぐにお買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

留守にするときは

ご旅行などで長い間ご使用にならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

置き場所について

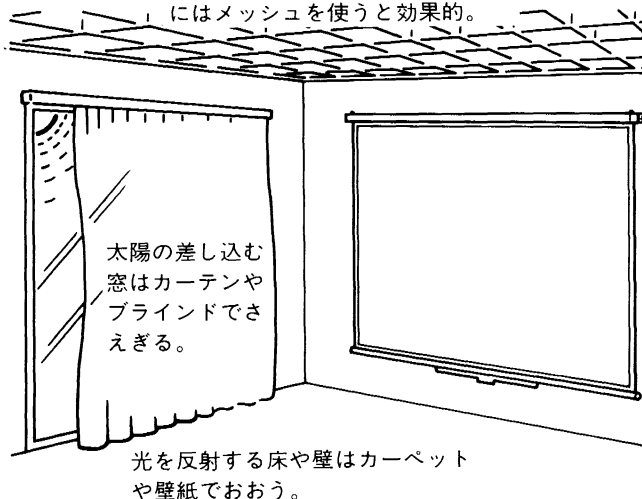
- 上面と底面にある通風孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪いところを避けて設置してください。
- 温度・湿度が非常に高いところや温度が著しく低いところ、ほこりの多いところでの使用は避けてください。

使用上のご注意

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーン面を照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

集光形のダウンライトにするか、あるいは蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使うと効果的。



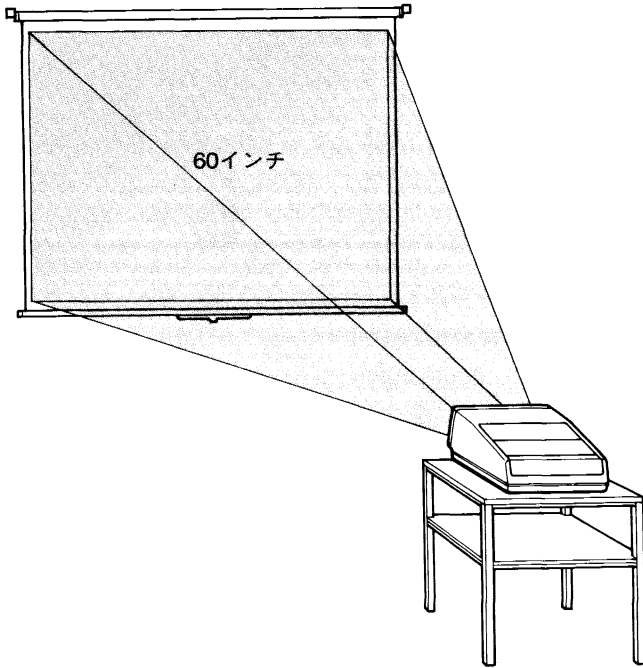
お手入れについて

- キャビネットや前面パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふきとり、乾いた布で仕上げてください。なお、お手入れの際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- レンズに手を触れたり、堅いもので傷をつけたりしないようご注意ください。

設置例

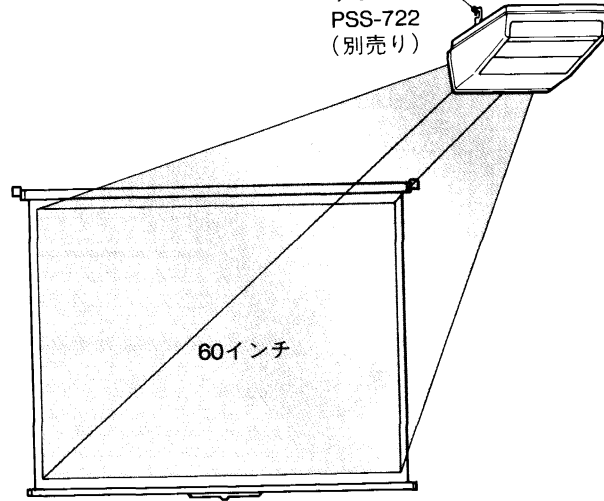
机の上に置く場合

平面スクリーン



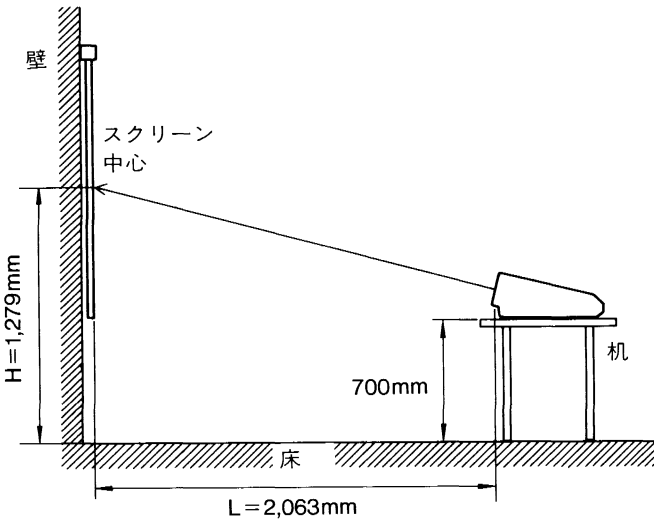
天井に取り付ける場合

サスペンション
サポート
PSS-722
(別売り)

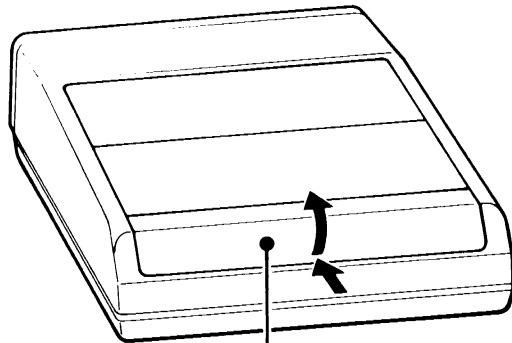


設置方法が同じであれば、設置場所を移しても、あらためて内部を調節し直す必要はありません。HとLが下の図に示した長さになるように、正しい位置に設置してください。

プロジェクターの持ち運びには、別売りのキャリングケース VLC-722をお使いください。

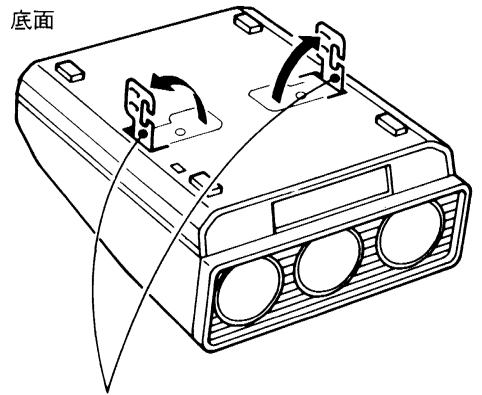


各部の名称と働き

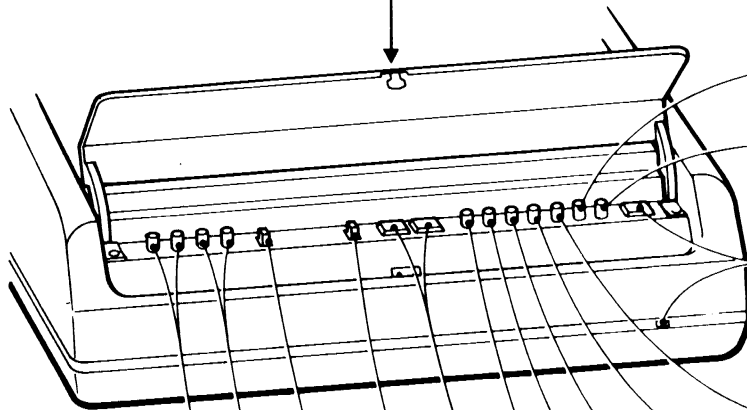


押して開けます。

底面



サスペンションサポート PSS-722 に
取り付けるときに使います。



- ① ピクチャー PICTURE つまみ
- ② ボリューム VOLUME (音量) つまみ
- ③ プロジェクター PROJECTOR スイッチとパイロットランプ
- ④ ブライネス BRIGHT (明るさ) つまみ
- ⑤ シャープネス SHARPNESS つまみ
- ⑥ カラー COLOR (色の濃さ) つまみ
- ⑦ ヒュー HUE (色あい) つまみ
- ⑧ バーティカル ホールド V HOLD (垂直同期) つまみ
- ⑨ インプット セレクト INPUT SELECT (入力切り換え) ボタン
- ⑩ ブルー モード セレクト BLUE MODE SELECT
(ブルーモード切り換え) スイッチ
- ⑪ ノーマル テスト NORMAL/TEST スイッチ
- ⑫ バーティカル センタリング V CENT (垂直レジストレーション) つまみ
- ⑬ ホリゾンタル センタリング H CENT (水平レジストレーション) つまみ

ピクチャー
① **PICTURE** つまみ

コントラスト、色の濃さ、明るさを同時に調節できます。

ボリューム
② **VOLUME (音量)** つまみ

音量を調節します。

プロジェクター
③ **PROJECTOR** スイッチ

押すと電源が入り、緑のパイロットランプが点きます。

電源を切るにはもう1度押します。

ブライツネス
④ **BRIGHT (明るさ)** つまみ

まん中のカチッと止まる位置が目安です。右にまわすと明るく、左にまわすと暗くなります。

シャープネス
⑤ **SHARPNESS** つまみ

右にまわすとくっきりした画面、左にまわすとやわらかい画面になります。

カラー
⑥ **COLOR (色の濃さ)** つまみ

右にまわすと色が濃くなり、左にまわすとうすくなります。

ヒュー
⑦ **HUE (色あい)** つまみ

右にまわすと画面が緑がかり、左にまわすと紫がかります。

バーティカル ホールド
⑧ **V HOLD (垂直同期)** つまみ

画面が上下に流れるとき、このつまみで調節します。

インプット セレクト
⑨ **INPUT SELECT (入力切り換え)** ボタン

投影する入力信号を選びます。

LINE : LINE IN コネクターからの入力を見るとき。

RGB : RGB IN コネクターからの入力を見るとき。

LINE IN コネクターに音声入力がつながれているときは、その音が聞こえます。

ブルー モード セレクト
⑩ **BLUE MODE SELECT (ブルーモード切り換え)** スイッチ

RGB入力のディスプレイ (主としてキャラクターディスプレイ) を見やすく調整するときに使います。

ふつうは「NORMAL」側にしておきます。ディスプレイの黒い背景を青くするには「BB」側、青いディスプレイをより明るく見やすくするには「CB」側に切り換えます。

ノーマル テスト
⑪ **NORMAL/TEST** スイッチ

ふだん LINE IN または RGB IN コネクターの入力を投影するときには「NORMAL」側にしておきます。

プロジェクターの位置やレジストレーションを合わせるときは「TEST」側に切り換えて、クロスヘアパターンをスクリーンに映し出します。

バーティカル センタリング
⑫ **V CENT (垂直レジストレーション)** つまみ

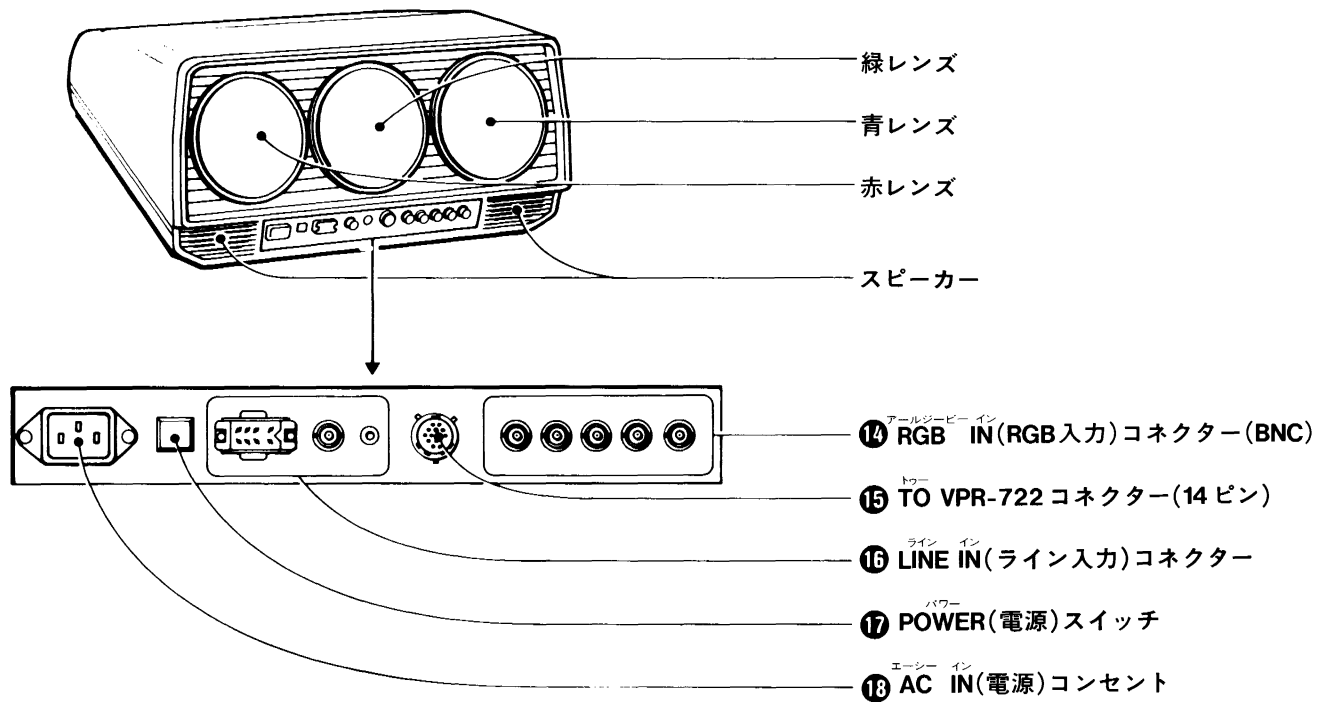
赤と青のたて方向のレジストレーションを合わせます。

水平 センタリング
⑬ **H CENT (水平レジストレーション)** つまみ

赤と青の横方向のレジストレーションを合わせます。

ご注意

- ⑤⑥⑦ のつまみは RGB 入力のディスプレイには働きません。
- リモートコントローラー VPR-722 を REMOTE コネクターにつなぐと、①から⑩のつまみ類は働かなくなります。VPR-722 側のつまみで操作してください。



⑭ ^{デジタル・ビー・イン} RGB IN (RGB入力) コネクター (BNC)

デジタルかアナログのRGB出力を持った、キャラクタージェネレーター、ビデオカメラ、将来の文字放送用アダプターなどをつなぎます。

R、G、B：RGB出力につなぎます。

SYNC/HD：複合または水平の同期出力につなぎます。

VD：垂直同期出力につなぎます。

⑮ ^{トゥー} TO VPR-722 コネクター (14 ピン)

別売りのCCQケーブルで、リモートコントローラーVPR-722をつなぎます。プロジェクターを天井に取り付けて使うときなど、離れたところから操作したいときに便利です。

⑯ ^{ライン イン} LINE IN (ライン入力) コネクター

映像／音声ライン出力端子付きのビデオデッキ、ビデオカメラ、カラーモニターなどをつなぎます。

VTR (8 ピン)：ビデオデッキの8ピンTVコネクターにつなぎます。

VIDEO (BNC)：映像ライン出力につなぎます。

AUDIO (ミニ)：音声ライン出力につなぎます。

ご注意

- 「VTR」と「VIDEO/AUDIO」の両方を同時に使わないでください。
- 8ピンコネクター付きのテレビチューナーやカラーモニターをVTRコネクターにつながないでください。同じ8ピンでも信号の配列が異なります。

⑰ ^{パワー} POWER (電源) スイッチ

押すと電源が入ります。リモートコントローラーVPR-722がつかないときは、VPR-722に電源が供給されます。

⑱ ^{エーシー イン} AC IN (電源) コンセント

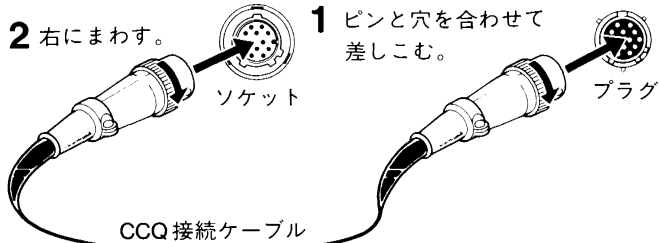
付属の電源コードをつなぎます。

システムアップ組み合わせ

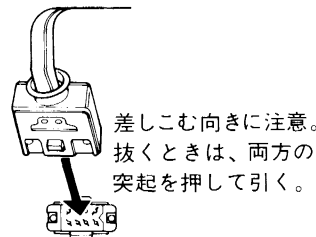
接続上のご注意

- 各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- 接続ケーブルは、それぞれ端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- プラグはしっかり差しこんでください。また、コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
- プロジェクターとリモートコントローラーの接続ケーブルは、最大50mまで延長できますが、50m以上になると、画質が劣化する恐れがあります。
- 接続の詳細については、各機器の説明書をご覧ください。

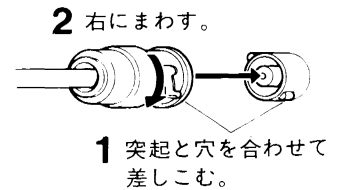
14ピンコネクター



8ピンコネクター



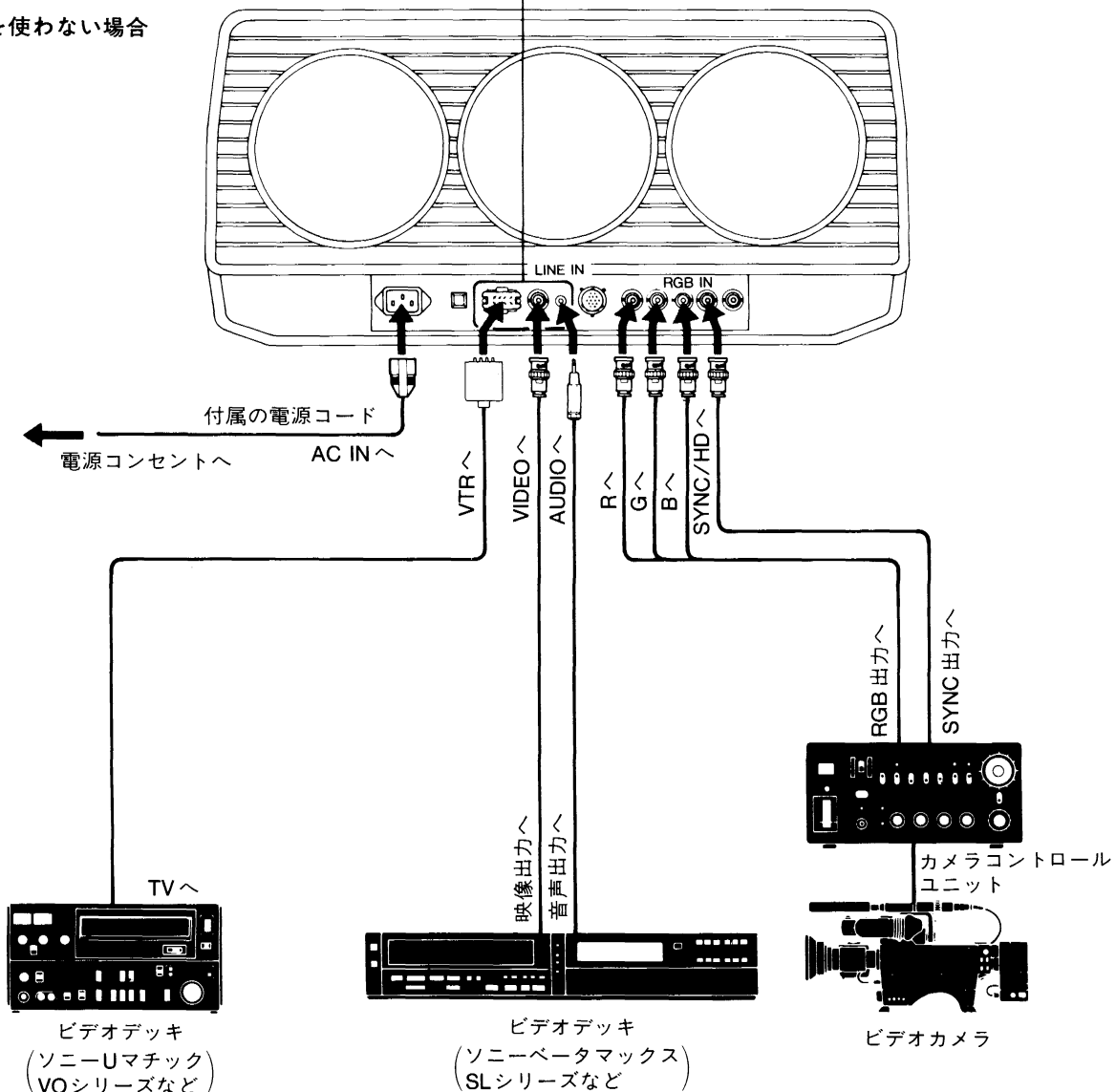
BNCコネクター



接続例

リモートコントローラー
VPR-722 を使わない場合

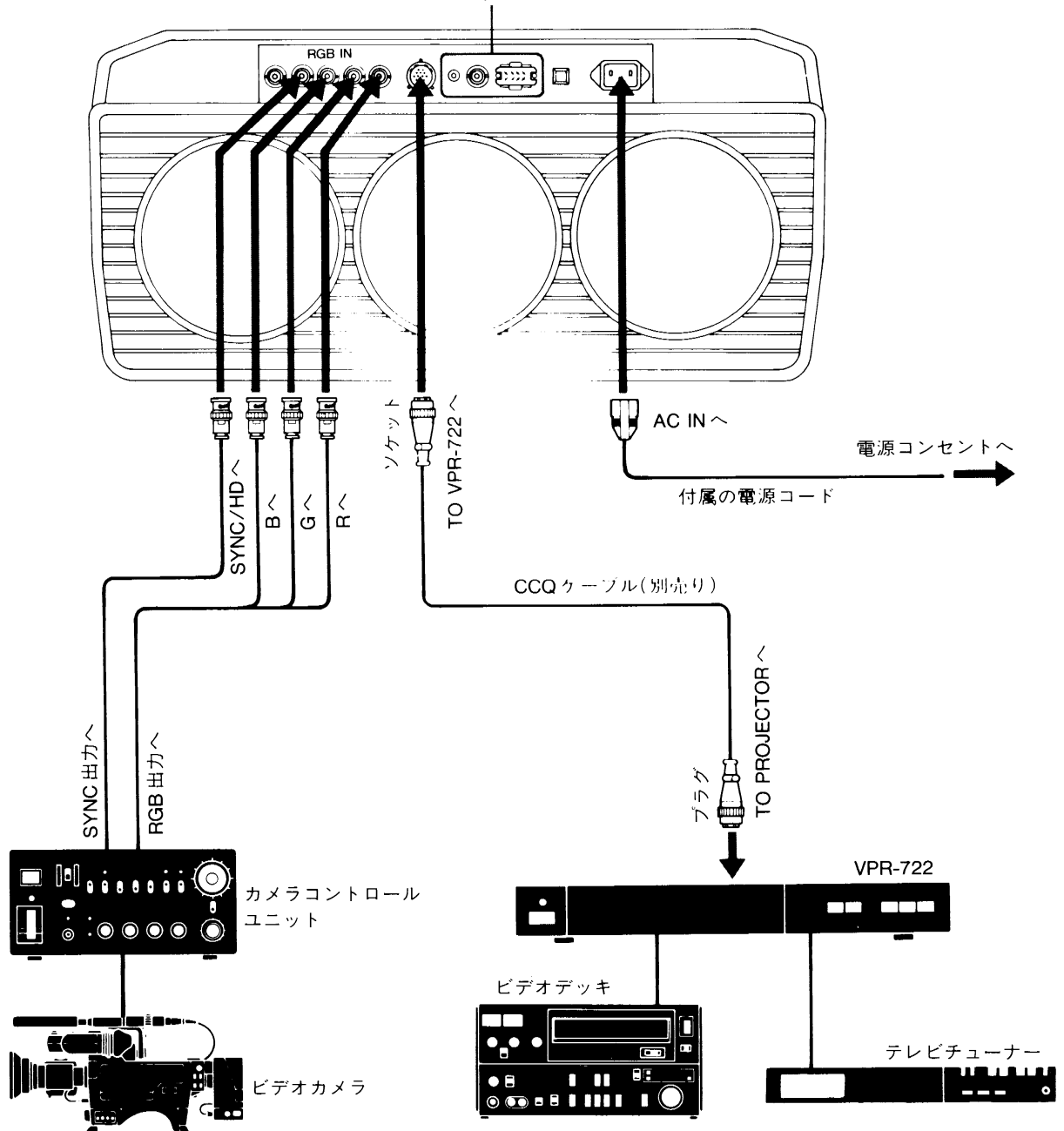
両方のコネクターを同時に使わないでください。



リモートコントローラー VPR-722 を使う場合

プロジェクターを天井につり下げて使うときなど、お手元で操作できない場合は、別売りのリモートコントローラー VPR-722をつないでくと便利です。電源の入/切、入力切り換え、画像の調整などがリモートコントローラーで離れたところから行えます。

VPR-722を使うときは、ビデオデッキ、テレビチューナー、ビデオカメラなどは、VPR-722につないでください。LINE IN コネクターと、VPR-722の両方に機器をつなぎ、同時にご使用になると信号が混ざり画像が見えなくなります。

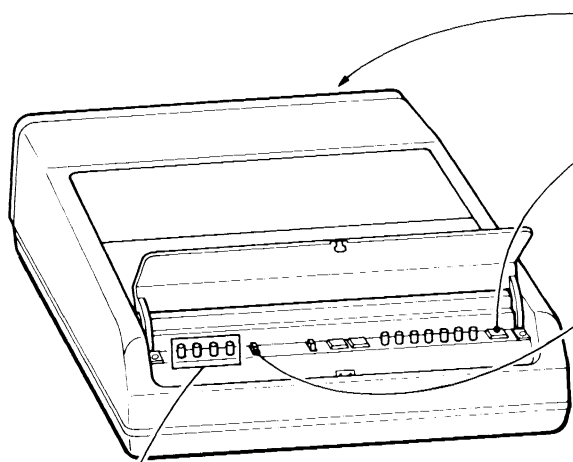


VPR-722との詳しいつなぎかたについては、VPR-722の取扱説明書をご覧ください。

位置決めとレジストレーション調整*

机の上などでプロジェクターを使うと、簡単に置き場所を変えられるので便利です。ただし、位置を変えたら、レジストレーションを合わせ直してください。

*プロジェクターは、3本のレンズ（光の3原色）からスクリーンに映像を映し出すしくみになっています。これらの3原色が正しく重なり合って、美しいカラー画像を映し出せるようにすることを、レジストレーション調整と言います。



1 POWER スイッチを押しこみます。

2 PROJECTOR スイッチを押します。

リモートコントローラー VPR-722 を使うときは、VPR-722 の PROJECTOR スイッチを押します。緑のパイロットランプが点きます。

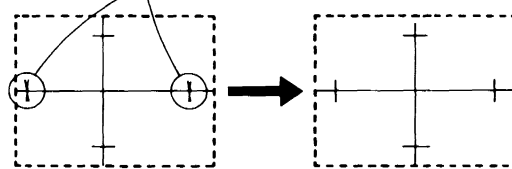
3 NORMAL/TEST スイッチを「TEST」側に切り換えます。

テストパターンがスクリーンに映ります。

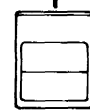
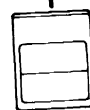
4 テストパターンがスクリーンからずれていないことと、線がくっきり見えることを確かめます。

調節が必要な場合は、プロジェクターを少し動かします。

焦点とレジストレーションが合っていないと、この部分がぼやける。



プロジェクターが正面を向いていないとき



プロジェクターとスクリーンの距離については4ページをご覧ください。

5 赤・緑・青の線が重なって、テストパターンが白く見えるかどうか確かめます。

そうでない場合は、テストパターンが白く見えるまで、次のようにしてレジストレーションを合わせます。



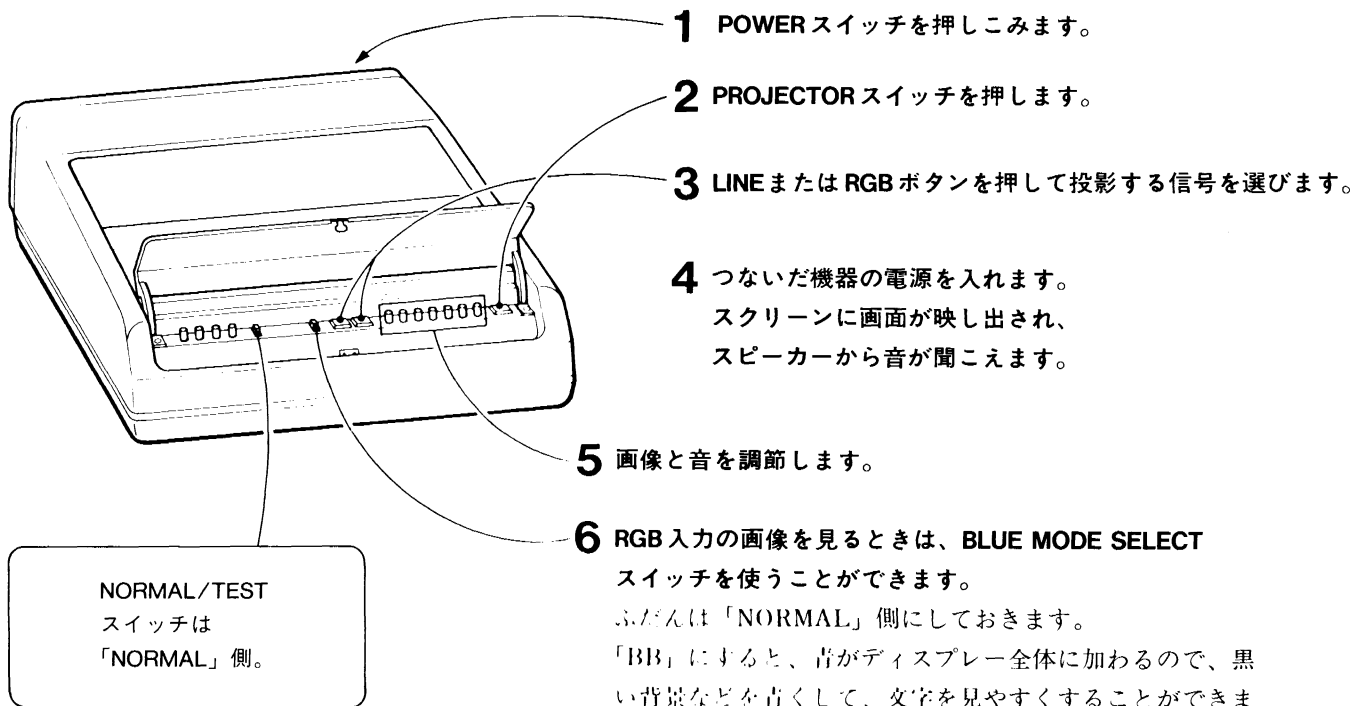
赤と青のたて線が緑の線と重なるようにします。右にまわすと、線が右に動きます。



赤と青の横線が緑の線と重なるようにします。右にまわすと、線が上に動きます。

6 調整が終わったら、NORMAL/TEST スイッチを「NORMAL」側に切り換えます。

操作



リモートコントローラー VPR-722を使うときは、
上の**2**、**3**、**5**、**6**の操作は、VPR-722のほうで行います。

主な仕様

光学系

投影方式	3管、3レンズ、インライン方式
ブラウン管	5.5型高輝度着色液冷管
レンズ	無反射コーティングハイブリッドレンズ F1.0/130mm
投影画面	60インチ(対角線径) 標準
光出力	300ルーメン
投影距離	60インチスクリーンの場合、スクリーンから本体前面までの水平距離：約2,063mm

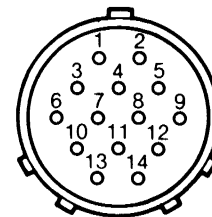
電気系、その他

カラー方式	PAL、SECAM、NTSC、NTSC _{4.43} 自動切り換え
解像度 (標準値)	900TVライン(RGB) 520TVライン(NTSCビデオ入力)
RGB入力	表示可能文字：80字×25行(2,000字) 水平周波数：15.75kHz 垂直周波数：50/60Hz
テスト信号	クロスヘア／クロスハッチパターン内蔵
スピーカー	5×9cm、2個
電源	AC100V(85～140V)、50/60Hz(VPH-600QJ)
消費電力	165W
最大外形寸法	508×258×592mm(幅×高さ×奥行き) (ブラケットは倒した状態)
重量	27kg
入力	

入力	コネクター	レベル	備考
映像入力	「VTR」8ピン (ピン2、6)	1V(p-p)±0.2V	PAL/SECAM/ NTSC/ NTSC _{4.43} 自動切り換え、 75Ω、同期負
	「VIDEO」BNC		
	「RGB IN」 BNC、5個	ノンコンポジット RGB:0.7V(p-p) アナログ 同期信号:0.3V (p-p)～6V(p-p)	75Ω、同期負
音声入力	「VTR」8ピン (ピン1、5)	-5dBs (436mVrms)	47kΩ
	「AUDIO」 ミニジャック		

TO VPR-722コネクター

14ピンプラグ
リモートコントローラー
VPR-722接続用



ピンNo.	信号	ピンNo.	信号
1	アース	8	入力切り換え
2	+28V≒60mA	9	音声(音量調節も含む)
3	色あい1	10	明るさ
4	色あい2	11	シャープネス
5	色あい3	12	色の濃さ
6	映像	13	ピクチャー
7	アース(映像)	14	電源 入:12V、切:0V

付属品 電源コード (1)

別売りアクセサリ

リモートコントローラー VPR-722
プロジェクターサスペンションサポート
PSS-722、PSS-10
キャリングケース VLC-722
CCQケーブル

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービスについて

調子が悪いときは
まずチェックを

→ この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。

それでも具合の悪い
ときはサービスへ

→ お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

→ 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の
修理は

→ 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お近くのソニー特機営業所にお問い合わせください。

お問い合わせ

ソニー株式会社 情報システム営業本部 特機営業部

北海道営業所 (011)231-8121

大阪営業所 (06)531-4111

東北営業所 (0222)25-0121

中国営業所 (082)241-9211

東京営業所 (03)448-3411

四国営業所 (0878)51-3942

東海営業所 (052)201-6871

九州営業所 (092)741-2761

This instruction manual covers the VPH-600QJ, 600Q and 600QM. The differences between the models are shown below.

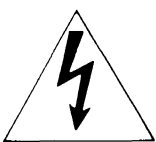
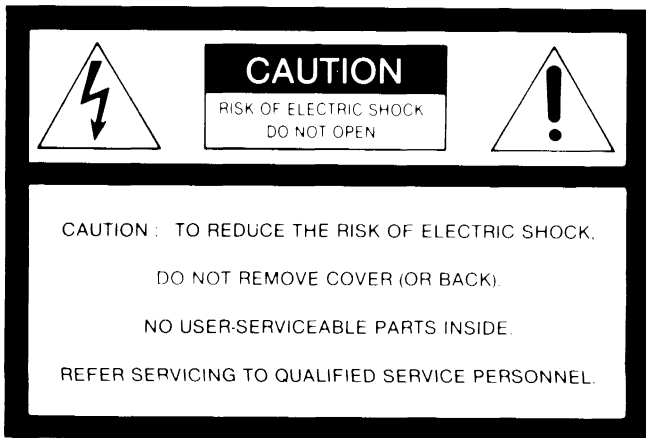
Model name	VPH-600QJ	VPH-600Q	VPH-600QM
Operating voltage preadjusted at the factory	100V ac	120V ac	220-240V ac
AC power cord plug	provided	provided	not provided

CONTENTS

Warning.....14
 Features.....15
 Precautions15
 Installation possibilities.....16
 Location and function of controls17
 System connections.....20
 Connecting notes20
 Examples of connections21
 Position and registration adjustments23
 Operation24
 Specifications25

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.



This symbol is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.



This symbol is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

INFORMATION for the users of the VPH-600Q

This equipment generates and uses radio frequency energy and if not installed and used properly, that is, in strict accordance with the manufacturer's instructions, may cause interference to radio and television reception. It has been type tested and found to comply with the limits for a Class B computing device in accordance with the specifications in Subpart J of Part 15 of FCC Rules, which are designed to provide reasonable protection against such interference in a residential installation. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

Reorient the receiving antenna

Relocate the equipment with respect to the receiver

Move the equipment away from the receiver

Plug the equipment into a different outlet so that equipment and receiver are on different branch circuits

If necessary, the user should consult the dealer or an experienced radio/television technician for additional suggestions. The user may find the following booklet prepared by the Federal Communications Commission helpful:

"How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems". This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington DC, 20402, Stock NO. 004-000-00345-4.

The shielded interface cable recommended in this manual must be used with this equipment in order to comply with the limits for a computing device pursuant to Subpart J of Part 15 of FCC Rules.

PRECAUTIONS

On safety

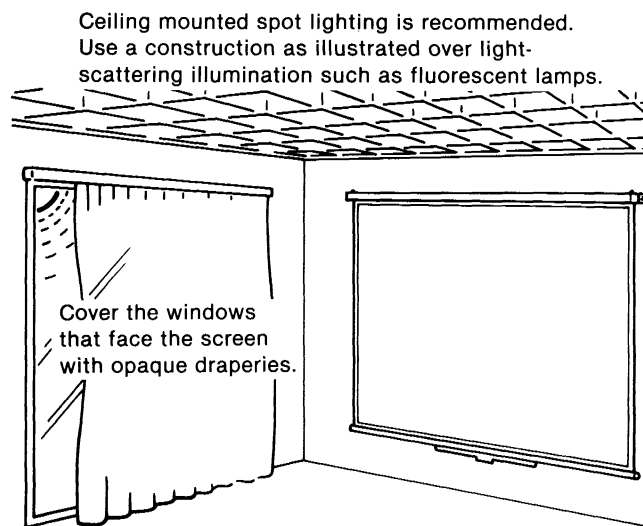
- Check that the operating voltage of your set is identical with the voltage of your local power supply. If voltage adaptation is required, consult your Sony dealer or qualified personnel.
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the set and have it checked by qualified personnel before operating it any further.
- Unplug the set from the wall outlet or set the POWER switch to OFF if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.

On installation

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the set on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes. Be aware that room heat rises to the ceiling; check that temperature near the installation location is not excessive.
- Do not install the set in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or humidity, mechanical vibration or shock.

On illumination

To obtain a clear picture, the screen should not be exposed to illumination or sunlight directly from the front.



It is desirable to install the projector in a room whose floor and walls are not of light-reflecting material. If the floor and walls are of reflecting material, it would be desirable to change to a dark carpet and wall paper.

On cleaning

- To keep the cabinet looking brand-new, periodically clean it with a soft cloth. Stubborn stains may be removed with a cloth lightly dampened with a mild detergent solution. Never use strong solvents, such as thinner or benzine, or abrasive cleansers, since these will damage the cabinet.
- Avoid touching the lens. To remove dust on the lens, use a soft dry cloth. Do not use a damp cloth, detergent solution, or thinner.

On repacking

Save the original shipping carton and packing material; they will come in handy if you ever have to ship your set. For maximum protection, repack your set as it was originally packed at the factory.

FEATURES

● Sharp 900-line Resolution

The newly developed picture tubes, colored coolant filter, double focus lens system, and hybrid lens offer dramatically sharp 900-line resolution.

● Bright 300-lumens Image

The newly created electronic gun and new phosphoric elements create unsurpassed brightness.

● High Contrast picture

The coated screens and lenses minimize light reflections to render a high contrast picture.

● Various installation possibilities

The projector is designed to be installed on the desk, floor or ceiling.

● Portable single unit

The power supply and control sections are incorporated in one compact, easy-to-transport unit.

● The PAL, SECAM, NTSC, or NTSC_{4.43}* color system is selected automatically.

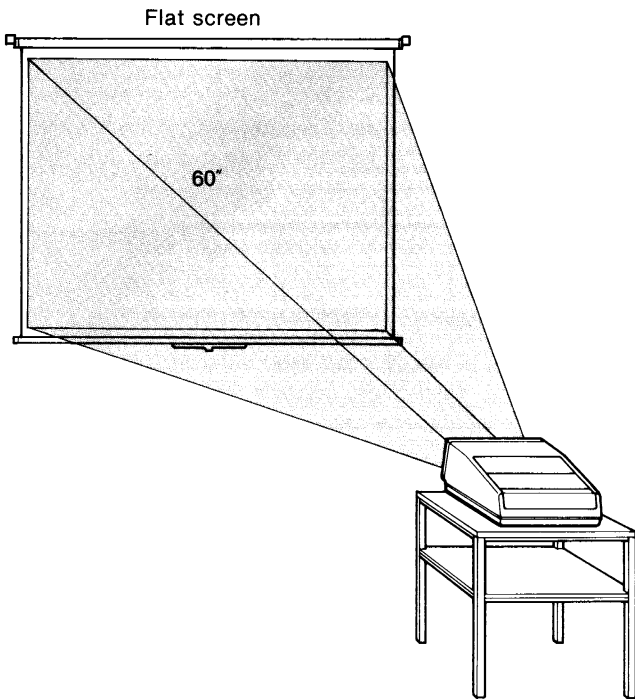
● RGB IN connectors allow a microcomputer, video camera or a special adaptor for future videotext/teletext having analog RGB outputs to be connected.

● A BLUE MODE SELECT switch is provided for easier-to-view display of RGB sources.

*A signal of NTSC_{4.43} system is obtained by playing back NTSC-recorded video tapes with a video tape recorder/player specially designed for use with this system.

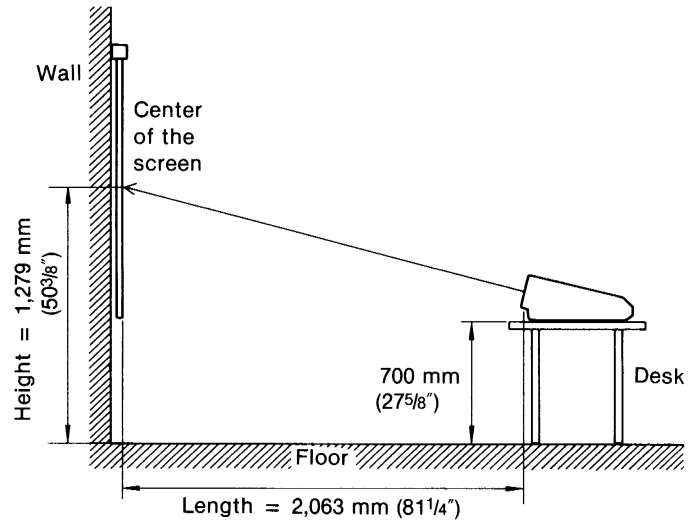
INSTALLATION POSSIBILITIES

Desk

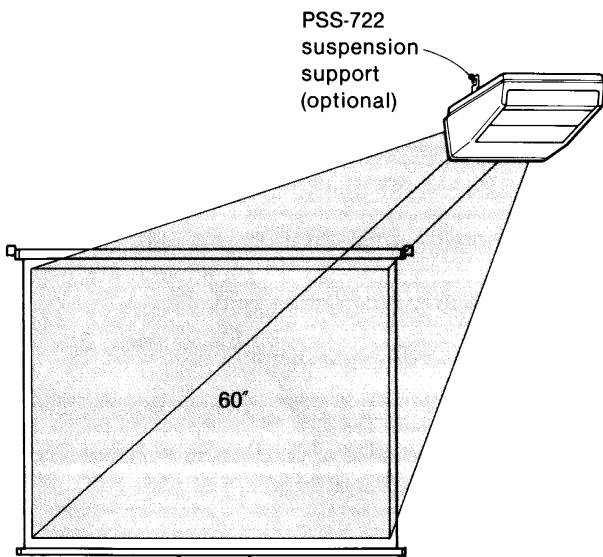


For the same type of installation and for the same size of the screen in another place, no readjustment is required, although the projector should be placed in the proper position.

Adjust the height and length as follows.



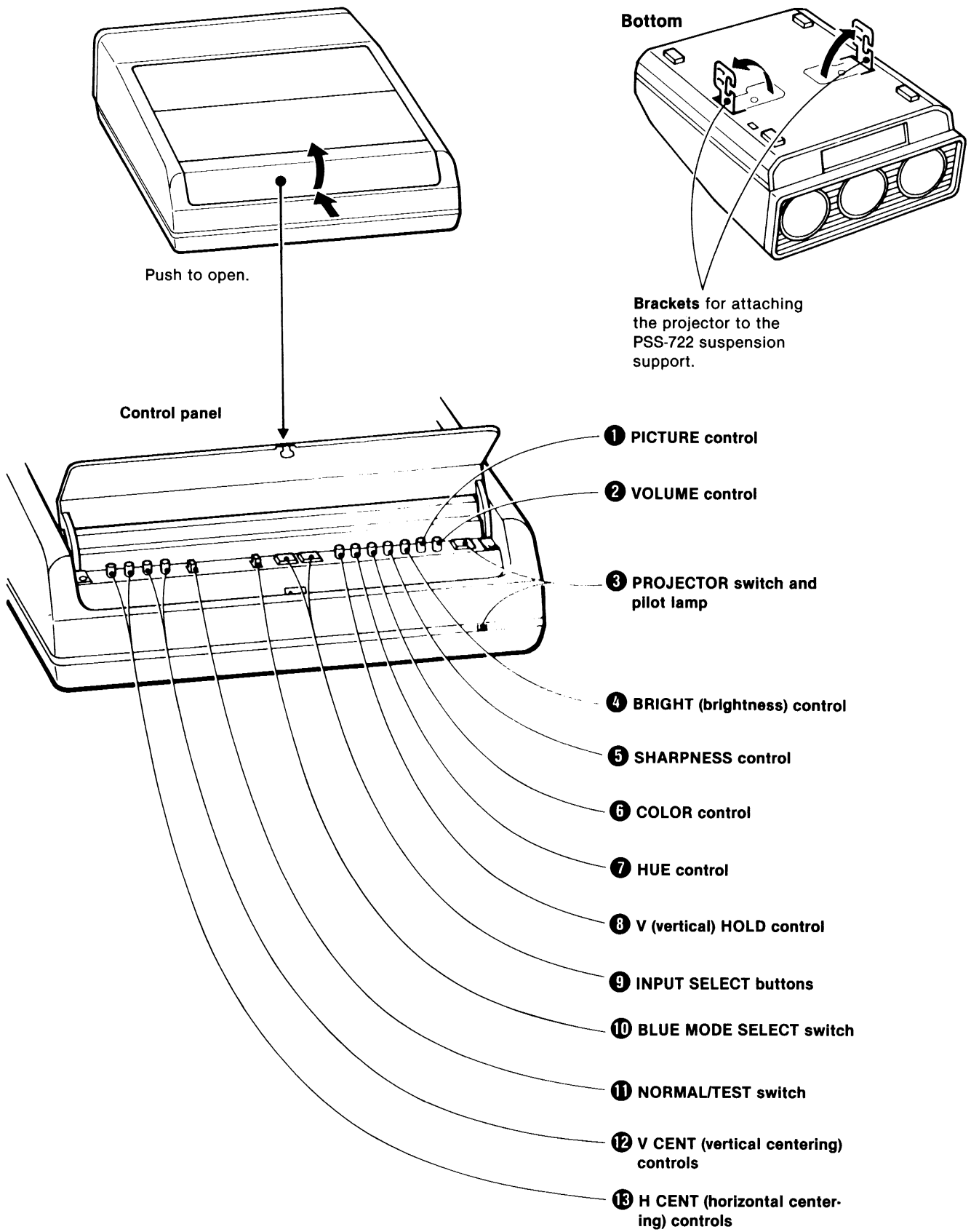
Ceiling



To transport the projector, use the VLC-722 carrying case (optional).



LOCATION AND FUNCTION OF CONTROLS



❶ PICTURE control

Adjusts the contrast, color intensity and brightness simultaneously in the proper ratio.

❷ VOLUME control

Adjusts the volume.

❸ PROJECTOR switch

Depress to turn the projector on. The green pilot lamp will light. To turn off, press the switch again.

❹ BRIGHT (brightness) control

Adjusts the brightness.

❺ SHARPNESS control

Adjusts the sharpness. Clockwise rotation makes the picture sharp; counterclockwise rotation makes it soft.

❻ COLOR control

Adjusts the color intensity. Clockwise rotation makes the picture vivid; counterclockwise rotation makes it pale.

❼ HUE control

This control is effective only for a program of the NTSC or NTSC_{4.43} color system. Use to obtain the most natural skin tones. Clockwise rotation makes the skin tones greenish; counterclockwise rotation makes them purplish.

❽ V (vertical) HOLD control

If the picture rolls vertically, adjust this control until the picture stabilizes.

❾ INPUT SELECT buttons

Press to select the program source to be projected.

LINE: For inputs from the LINE IN connectors

RGB: For inputs from the RGB IN connectors

If audio signals are connected to the LINE IN, the sound will be heard.

❿ BLUE MODE SELECT switches

This switch is effective only for RGB inputs.

Usually set to NORMAL. Set to BB (blue background) to change the black background of the display to blue, and to CB (clear blue) to lighten blue part of the display.

The display should become easier to view.

⓫ NORMAL/TEST switch

Usually set to NORMAL to project inputs from the LINE IN or RGB connectors.

Set to TEST to display the built-in cross-hair pattern on the screen for easier adjustments of the projector's position and registration.

⓬ V CENT (vertical centering) controls

Adjust vertical registration of red and blue.

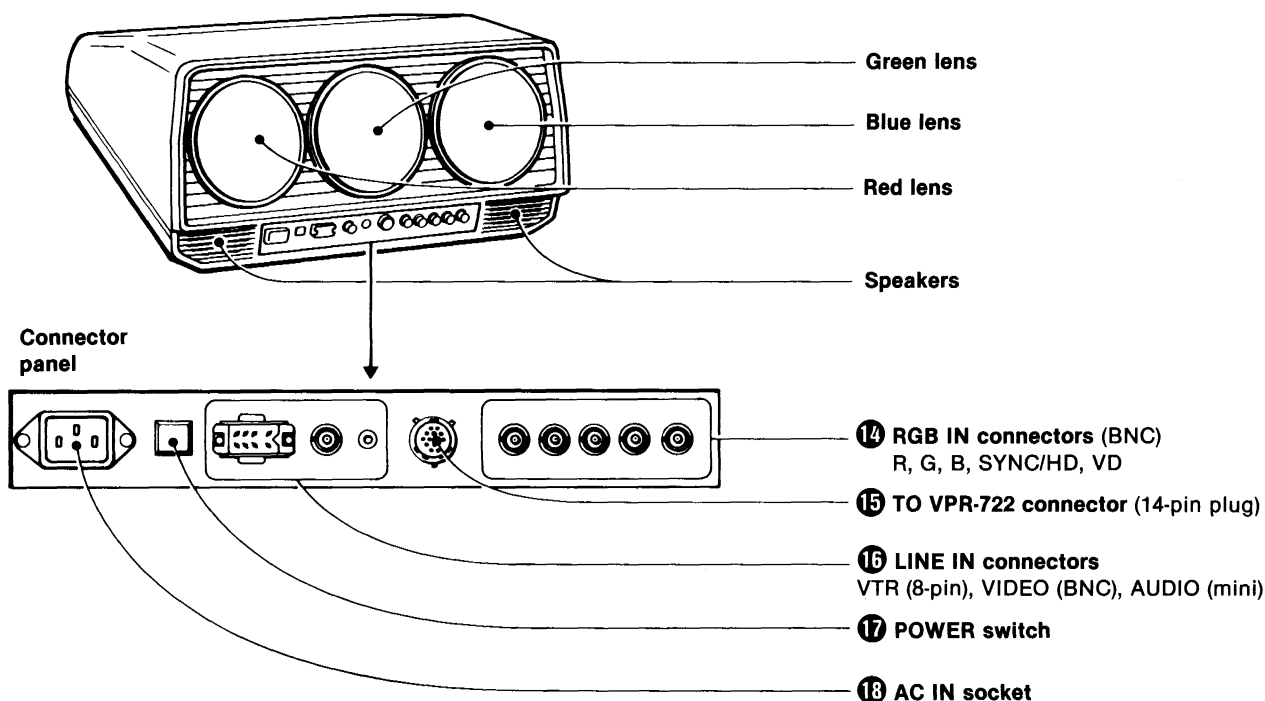
⓭ H CENT (horizontal centering) controls

Adjust horizontal registration of red and blue.

Notes

❺ ❻ ❹ controls do not function for RGB inputs.

❶ through ❿ do not function when the VPR-722 remote controller is connected to the REMOTE connector. The same controls on the VPR-722 are operative.



14 RGB IN connectors (BNC)

Allow a character generator, microcomputer, video camera or a special adaptor for future videotext/teletext having analog RGB outputs to be connected.
 R, G, B: to RGB outputs
 SYNC/HD: to a composite sync or horizontal sync output
 VD: to a vertical sync output

15 TO VPR-722 connector (14-pin plug)

To remotely control the projector, for instance, when it is installed on the ceiling, connect the optional VPR-722 remote controller here using the optional CCQ connecting cable.

16 LINE IN connectors

Allow a video tape recorder, video camera, color receiver/monitor, etc. having video/audio line outputs to be connected.
 VTR (8-pin): to an 8-pin TV connector on a VTR
 VIDEO (BNC): to a video line output
 AUDIO (mini): to an audio line output
Caution: Use either the VTR or VIDEO/AUDIO connectors, but not both simultaneously.
 Do not connect a TV tuner or a color receiver/monitor equipped with an 8-pin connector to the VTR connector, because signal assignment is different.

17 POWER switch

Depress to turn the power on. When the VPR-722 remote controller is used, power will be supplied to the controller.

18 AC IN socket

Connect the supplied ac power (mains) cord here and to an ac (mains) outlet.

WARNING for the customers in the United Kingdom
 THIS APPARATUS MUST BE EARTHED

IMPORTANT

The wires in this mains lead are coloured in accordance with the following code:

- Green-and-yellow: Earth
- Blue: Neutral
- Brown: Live

As the colours of the wires in the mains lead of this apparatus may not correspond with the coloured markings identifying the terminals in your plug proceed as follows:

The wire which is coloured green-and-yellow must be connected to the terminal in the plug which is marked by the letter E or by the safety earth symbol \perp or coloured green or green-and-yellow.

The wire which is coloured blue must be connected to the terminal which is marked with the letter N or coloured black.

The wire which is coloured brown must be connected to the terminal which is marked with the letter L or coloured red.

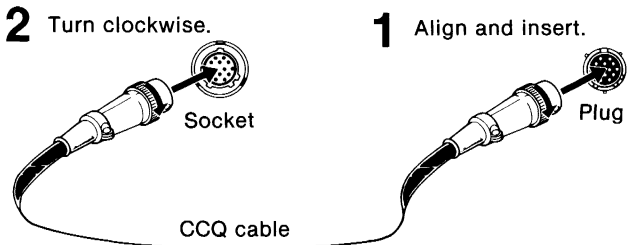
SYSTEM CONNECTIONS

CONNECTING NOTES

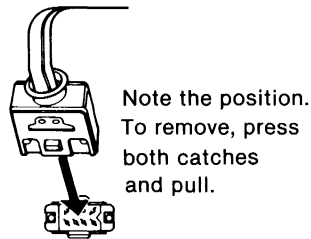
- First make sure that the power to each piece of equipment is turned off.
- Use suitable connecting cables according to the equipment to be connected.
- The cable connectors should be fully inserted into the jacks. A loose connection may cause hum and noise.

- The cable may be extended to max. 50m. If the connecting cable is too long (longer than 50 m), picture quality may be degraded somewhat.
- To disconnect the cable, pull it out by grasping the plug. Never pull the cable itself.
- Read the instruction manual of the equipment to be connected.

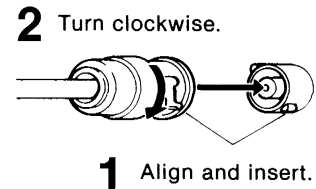
14-pin connector



8-pin connector

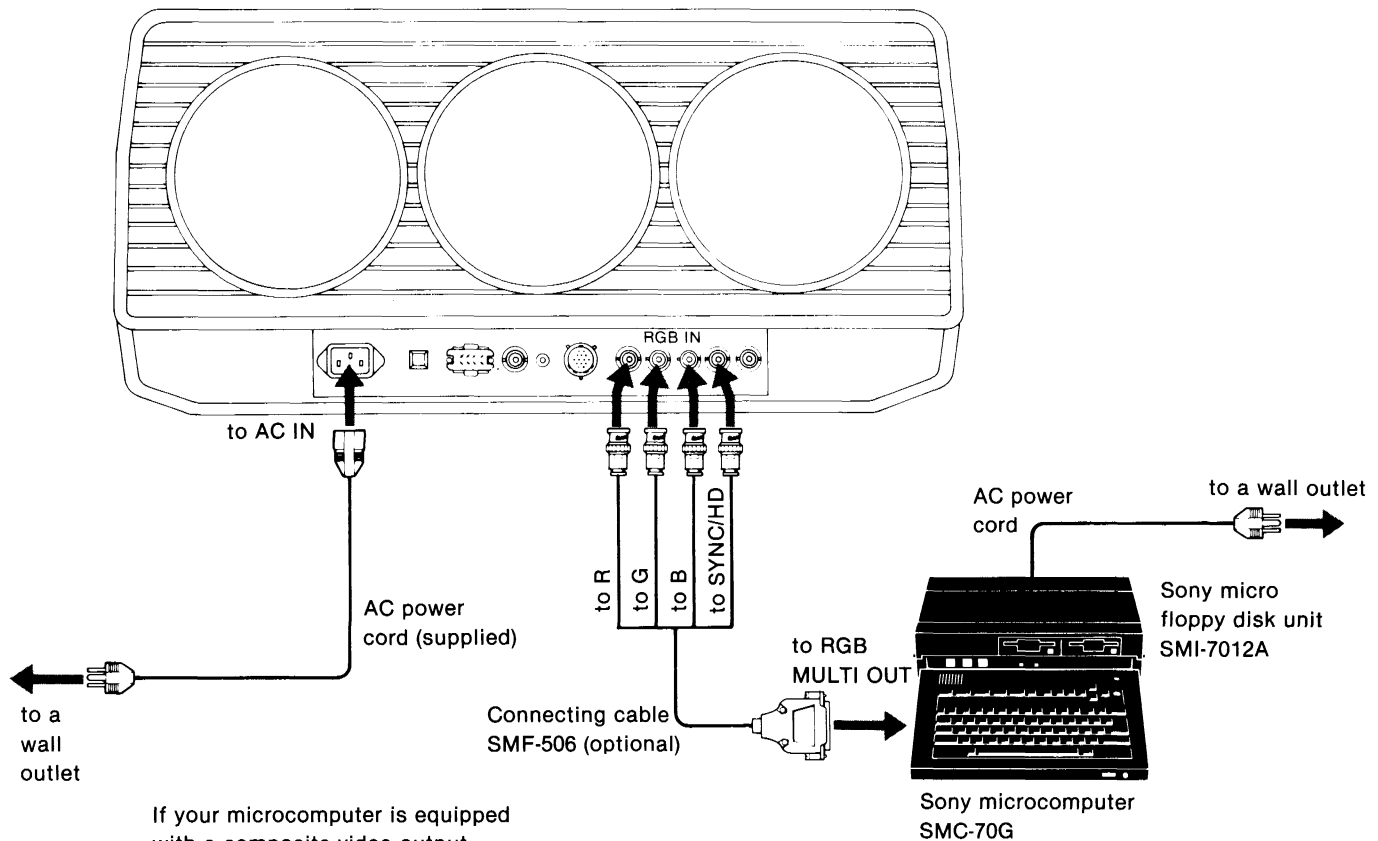


BNC connector



Using the VPH-600Q projector with a Sony microcomputer

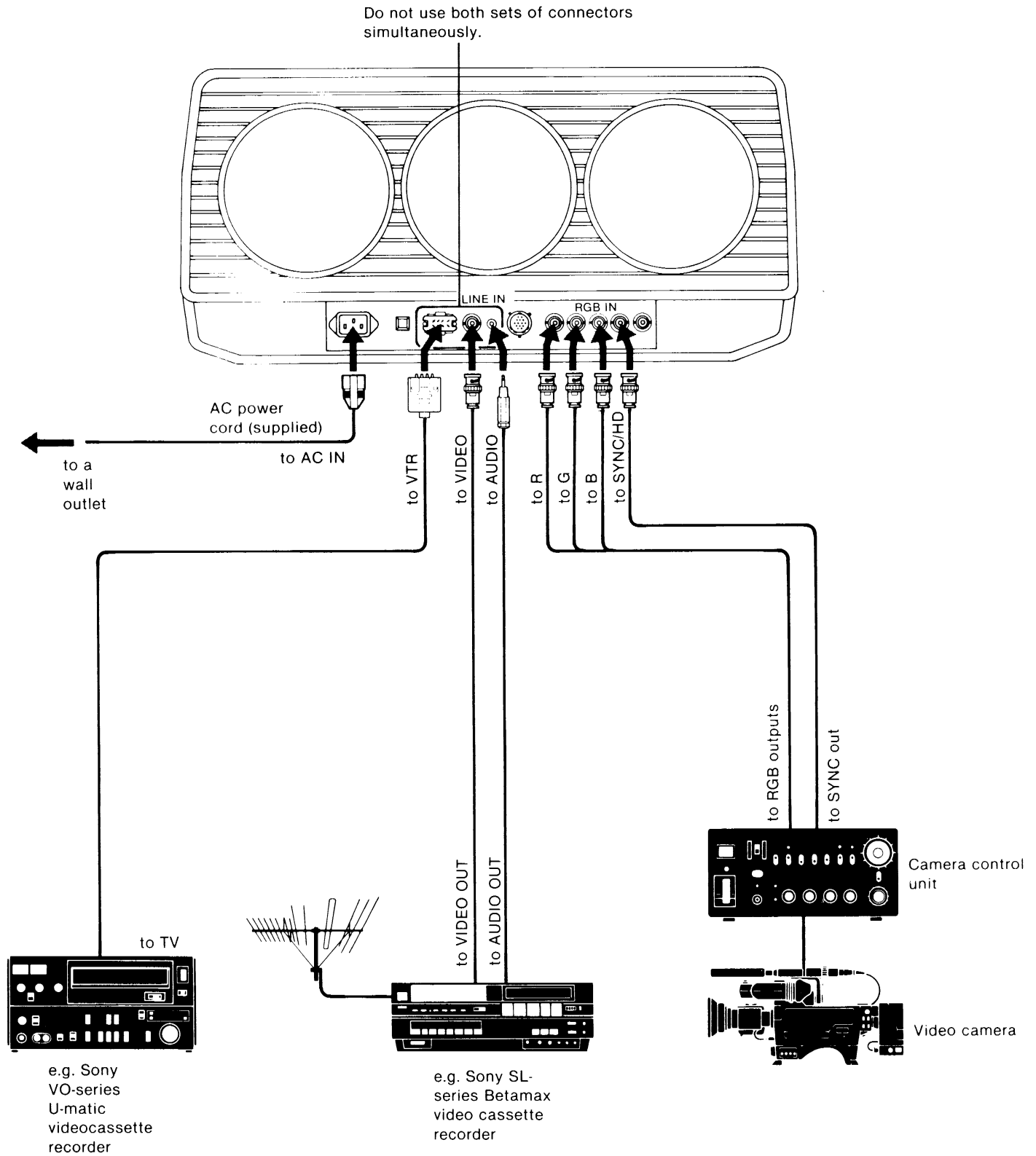
To avoid interference with radio or TV reception, always use the supplied AC power cord and the optional connecting cable as described in the connection configuration below. This is indispensable to comply with FCC Rule Part 15 Subpart J, regulating interference to radio or TV reception caused by computing device.



If your microcomputer is equipped with a composite video output, connect the output to the VIDEO LINE IN connector on the projector.

EXAMPLES OF CONNECTIONS

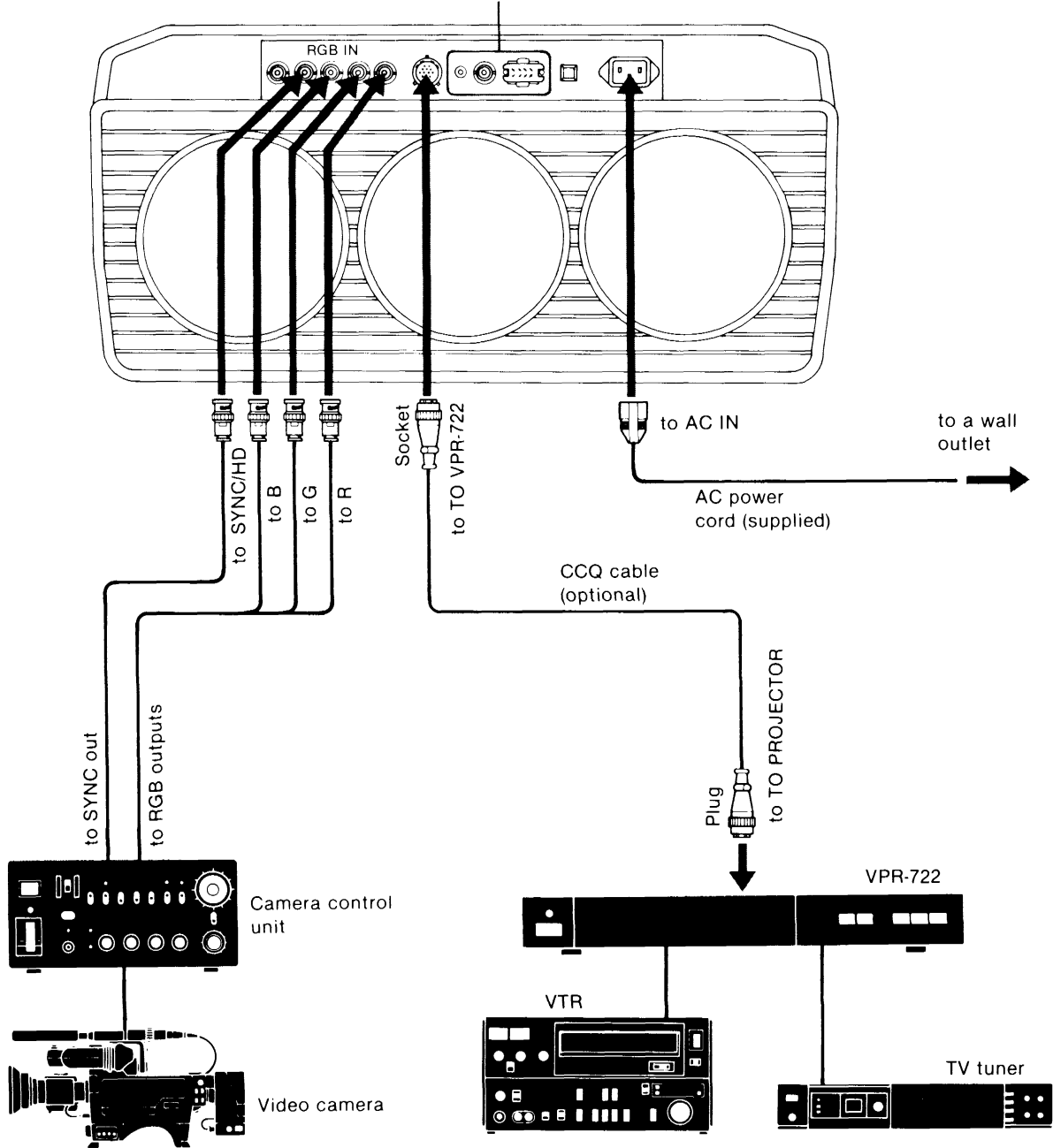
Using the projector without the VPR-722 remote controller



Using the projector with the VPR-722 remote controller

Use the optional VPR-722 remote controller when the projector is installed on the ceiling or at a distance from your seat. Power on/off, program selection and picture adjustments can be remotely controlled.

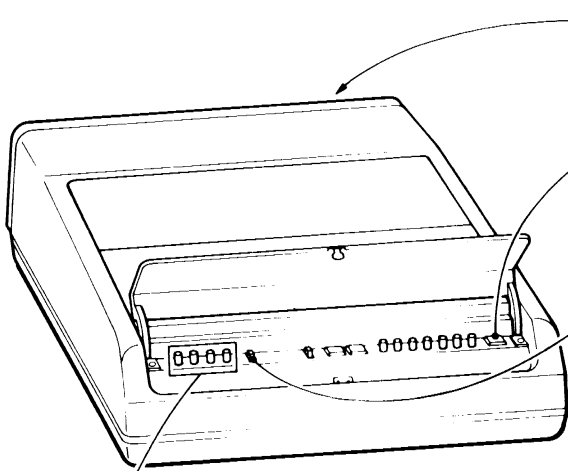
When you use the VPR-722 remote controller, connect a VTR, TV tuner, video camera, etc. to the VPR-722 (but not to the LINE IN connectors). If pieces of equipment are connected to both the VPR-722 and to the LINE IN connectors, and if they are used simultaneously, their signals will be mixed. Therefore, a clear picture will not be displayed.



For details on the connections, see the instruction manual of the VPR-722.

POSITION AND REGISTRATION ADJUSTMENTS

Installation and preliminary adjustments should be performed by qualified Sony personnel.
 If the projector is installed on the desk, it can be easily moved but it may be necessary to readjust the registration if it is.



- 1 Turn the POWER switch on.**
- 2 Turn the PROJECTOR switch on.**
 When the VPR-722 remote controller is used with the projector, turn the VPR-722's PROJECTOR switch on. The green pilot lamp will light.
- 3 Set the NORMAL/TEST switch to TEST.**
 A built-in cross-hair test pattern will be displayed.
- 4 Check that the test pattern is centered and focused on the screen.**
 If not, move the projector slightly so that the pattern is displayed clearly.

- 5 Check that the red, green and blue lines converge so that the pattern is seen as white.**
 If not, adjust the registration as follows:

Turn these controls so that the red and blue vertical lines converge with the green line.



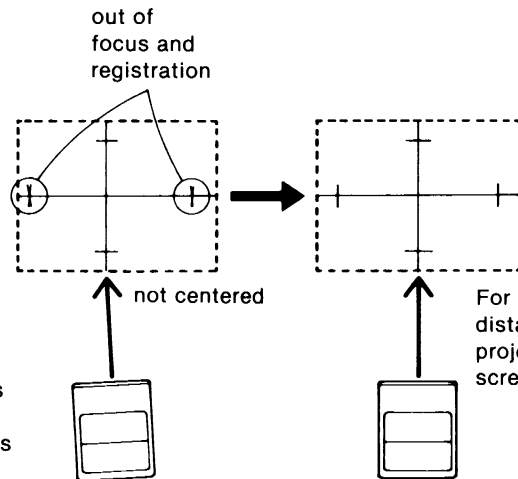
Clockwise rotation moves the respective line to the right.

Turn these controls so that the red and blue horizontal lines converge with the green line.



Clockwise rotation moves the respective line upward.

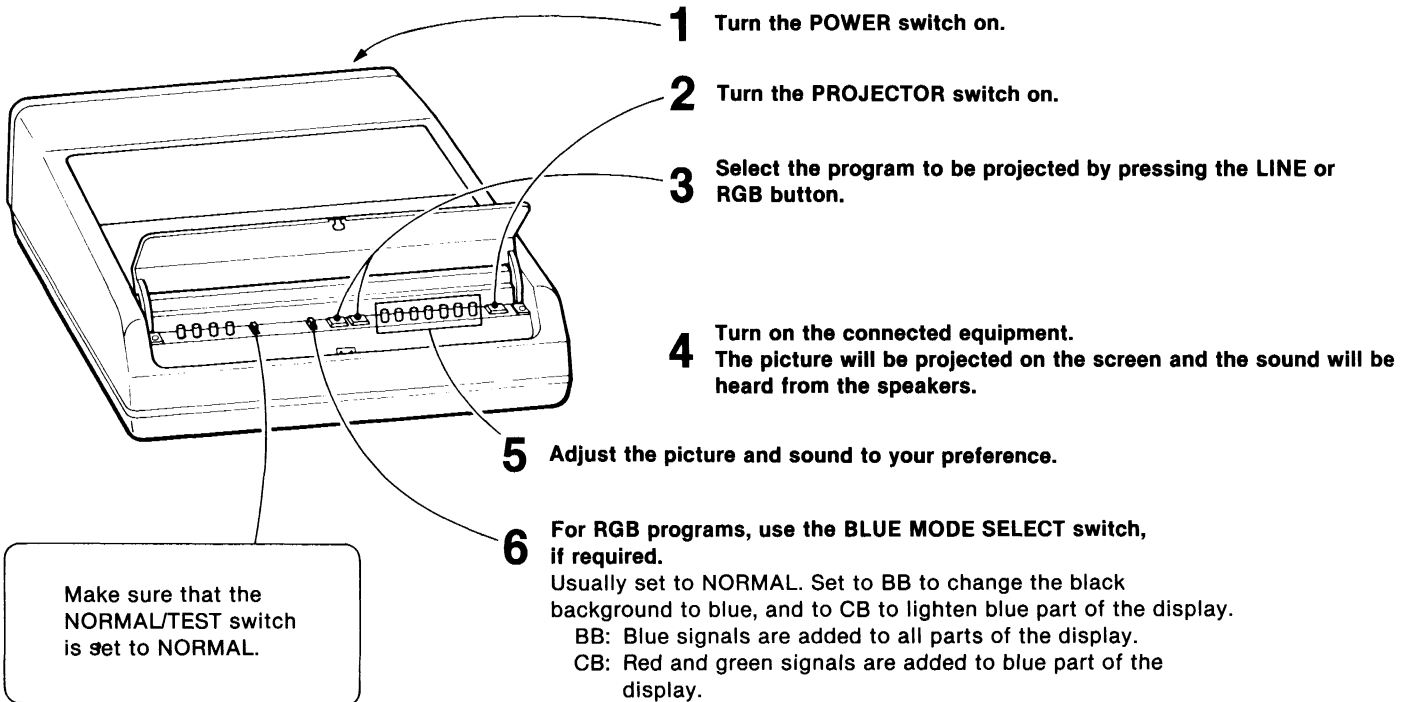
Repeat the adjustment until the pattern appears white.



For the appropriate distance between the projector and the screen, see page 16.

- 6 After the adjustment is complete, set the TEST/NORMAL switch to NORMAL.**

OPERATION



When the VPR-722 remote controller is connected, steps 2, 3, 5 and 6 should be performed on the controller.

SPECIFICATIONS

Optical

Projection system	3 picture tubes, 3 lenses, direct projection system
Picture tube	5.5-inch high-brightness mono-chrome tubes, with coolant sealed
Projection lens	High-performance hybrid lenses F 1.0/130 mm
Projected picture size	60 inches (standard)
Light output	300 lumens
Throwing distance	Approx. 2,063 mm (81 ¹ / ₄ inches) Horizontal length from projector to screen for 60 inch screen

General

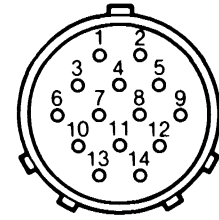
Color system	PAL, SECAM, NTSC and NTSC _{4,43} systems, switched automatically
Resolution (typical value)	Center: 900 TV lines (RGB inputs) 520 TV lines (for video line inputs, NTSC)
RGB inputs	Character display capacity: 2000 characters (80 letters × 25 lines) Horizontal frequency: 15.75 kHz Vertical frequency: 50/60 Hz
Test signal	Cross-hair/crosshatch test pattern generator is incorporated.
Speaker	Approx. 5 × 9 cm (2 × 3 ⁵ / ₈ inches), 2 units
Power requirements	VPH-600QJ: 100V ac, 50/60 Hz VPH-600Q: 120V ac, 50/60 Hz VPH-600QM: 220–240V ac, 50/60 Hz
Power consumption	VPH-600QJ: 165W (max.) VPH-600Q: 165W (max.) VPH-600QM: 155W (max.)
Dimensions	Approx. 508 × 258 × 592 mm (w/h/d) (20 × 10 ¹ / ₄ × 23 ³ / ₈ inches) with the brackets pushed down, incl. projecting parts and controls
Weight	Approx. 27 kg (59 lb 10 oz)

Inputs

Signal	Connector	Signal level	Remarks
Video input	[VTR] 8-pin (pins 2&6)	1V (p-p)±0.2 V	PAL/SECAM/ NTSC/NTSC _{4,43} 75 ohms sync negative
	[VIDEO] BNC connector		
	[RGB IN] 5 BNC connectors		
Audio input	[VTR] 8-pin (pins 1&5)	-5 dBs (436 mV rms)	47 kilohms
	[AUDIO] minijack		

TO VPR-722 connector

14-pin plug
For connecting the VPR-722 remote controller



Pin No.	Signal	Pin No.	Signal
1	Ground	8	Input select
2	+28V 60mA	9	Audio (incl. volume control)
3	Hue 1	10	Brightness
4	Hue 2	11	Sharpness
5	Hue 3	12	Color
6	Video	13	Picture
7	Ground (video)	14	Power ON: 12V OFF: 0V

Accessory supplied AC power cord (1)

Optional units/accessories

- Remote controller VPR-722
- Projector suspension support PSS-722, PSS-10
- Carrying case VLC-722
- CCQ cables
- Connecting cable SMF-506

Design and specifications subject to change without notice.

Ce mode d'emploi est consacré à la description des modèles VPH-600QJ, 600Q et 600QM. Leurs différences sont indiquées ci-dessous.

Désignation du modèle	VPH-600QJ	VPH-600Q	VPH-600QM
Tension de fonctionnement pré réglée à l'usine	Secteur 100V	Secteur 120V	Secteur 120 à 240V
Fiche du cordon d'alimentation secteur	fournie	fournie	non fournie

TABLE DES MATIERES

Avertissement	26
Caractéristiques	26
Précautions	27
Possibilités d'installation.....	28
Emplacement et fonction des commandes.....	29
Branchements du système.....	32
Remarques sur les branchements.....	32
Exemples de branchements.....	33
Réglages de position et de coïncidence.....	35
Exploitation	36
Spécifications	37

AVERTISSEMENT

Pour éviter tout risque d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer l'appareil à la pluie ni à l'humidité.

L'appareil renferme de hautes tensions dangereuses. Ne pas ouvrir le coffret. Ne confier l'entretien qu'à un personnel qualifié.

CARACTERISTIQUES

● Haute définition de 900 lignes

Les tubes image, mis au point récemment, le filtre refroidisseur coloré, le système d'objectif à double mise au point, ainsi que l'objectif hybride sont à la base de cette haute définition de 900 lignes.

● Image très lumineuse de 300 lumens

Le nouveau canon électronique et les nouveaux éléments phosphoriques créent une luminosité exceptionnelle.

● Image fortement contrastée

Les écrans et les objectifs ont été enduits pour minimiser la réflexion de la lumière et, par conséquent, rendent une image encore plus contrastée.

● Diverses possibilités d'installation

Le projecteur est conçu pour être installé sur un bureau, au sol ou plafond.

● Unité portable tout-en-un

La section d'alimentation et la section de commande sont incorporées dans un coffrage compact. De cette façon le projecteur est facile à transporter.

● Les systèmes couleur PAL, SECAM, NTSC ou NTSC_{4,43}* sont automatiquement sélectionnés.

● Les connecteurs d'entrée RGB IN offrent la possibilité de connecter un micro-ordinateur, une caméra vidéo ou un adaptateur spécial pour une exploitation future de vidéotexte/téletexte équipés de sorties RGB analogiques.

● Le sélecteur BLUE MODE SELECT permet d'obtenir un visionnage facilement lisible des sources d'entrée RGB.

*Un signal de système NTSC_{4,43} est obtenu par la lecture de bandes vidéo enregistrées selon le système NTSC au moyen d'un magnétoscope ou d'un lecteur de bande vidéo spécialement conçu pour exploiter ce système.

PRECAUTIONS

Sécurité

- S'assurer que la tension de fonctionnement de l'appareil est identique à celle du secteur local. Si l'adaptation est requise, consulter un concessionnaire ou un personnel qualifié Sony.
- Si un matériau quelconque, liquide ou solide, pénètre à l'intérieur du coffret, débrancher le cordon, et avant de remettre l'appareil en marche, le faire vérifier par un personnel compétent.
- Débrancher l'appareil de la prise secteur ou mettre l'interrupteur POWER sur OFF s'il ne doit pas être utilisé pendant plusieurs jours.
- Toujours débrancher en tirant sur la fiche et non sur le cordon.

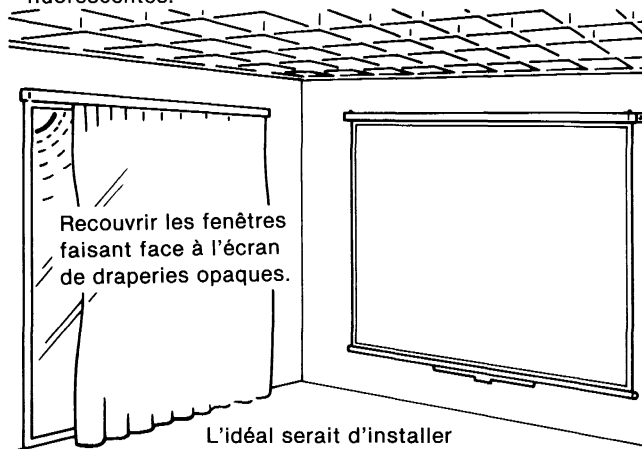
Installation

- Laisser une circulation d'air suffisante pour éviter une surchauffe à l'intérieur de l'appareil. Ne pas le placer sur une surface molle (tapis, couvertures, etc.), ni à proximité d'autres matériaux (rideaux, draperies) susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation. Se souvenir que la chaleur d'une pièce s'accumule au plafond; veiller à ce que la température à proximité de l'installation ne soit pas excessive.
- Ne pas placer l'appareil à proximité de sources de chaleur telles que des radiateurs ou des bouches d'air chaud, ni dans un endroit soumis aux rayons directs du soleil. Le protéger de la poussière, de l'humidité, des vibrations mécaniques et des chocs.

Eclairage

Pour obtenir une image claire, veiller à ce que l'écran ne soit pas soumis directement à un éclairage ou aux rayons du soleil.

Un éclairage concentré monté au plafond est conseillé. Se servir d'une structure comme celle qui est illustrée par dessus les éclairages à dispersion tels que les lampes fluorescentes.



L'idéal serait d'installer le projecteur dans une pièce dont les murs et le sol sont en matériau non-réfléchissant. Si le sol et les murs sont en matériau réfléchissant, adopter un tapis noir et tapisser les murs en noir.

Nettoyage

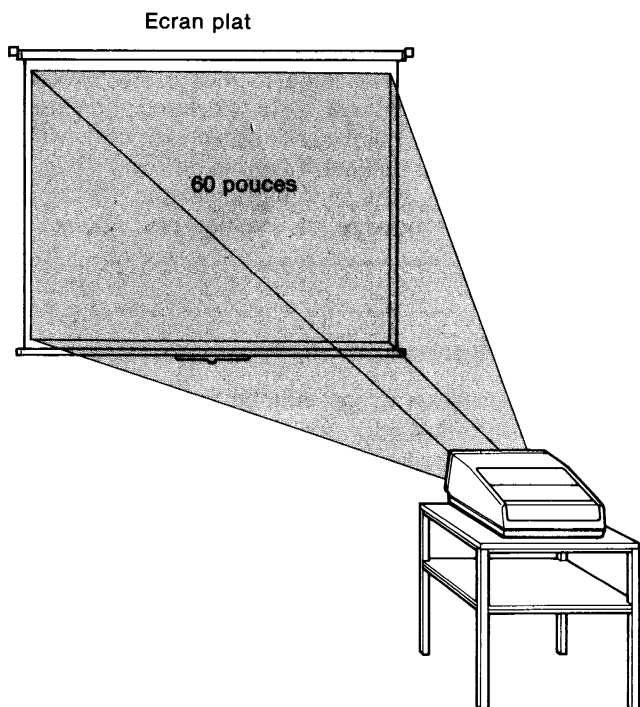
- Pour maintenir l'appareil dans un état de propreté impeccable, le nettoyer régulièrement avec un chiffon doux. Les taches persistantes peuvent être enlevées avec un chiffon légèrement humecté d'une solution savonneuse douce. Ne jamais utiliser de solvants puissants tels qu'un diluant, de la benzine ou un abrasif de nettoyage car ils pourraient endommager le coffret.
- Eviter de toucher l'objectif. Pour le nettoyer de toute poussière, se servir d'un chiffon doux et sec. Ne jamais utiliser de chiffon humide, de solution savonneuse ou de diluant.

Remballage

Conserver le carton et les matériaux d'emballage. Ils pourront être utiles pour une expédition éventuelle de l'appareil. Pour assurer la meilleure protection possible, remballer l'appareil comme à la livraison.

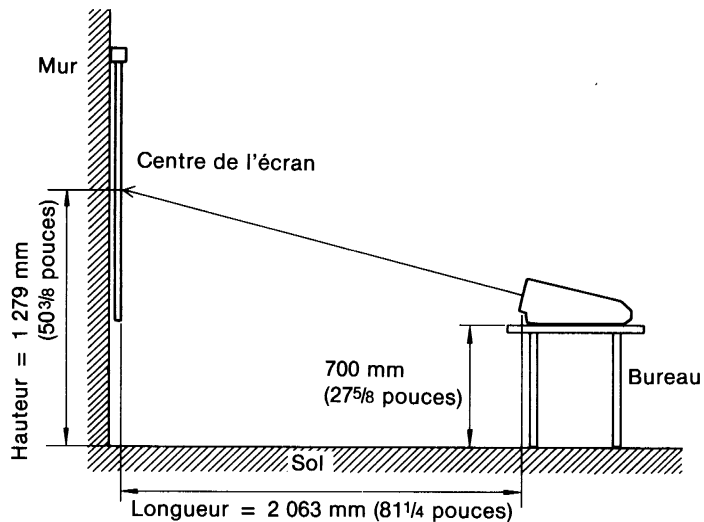
POSSIBILITES D'INSTALLATION

Bureau



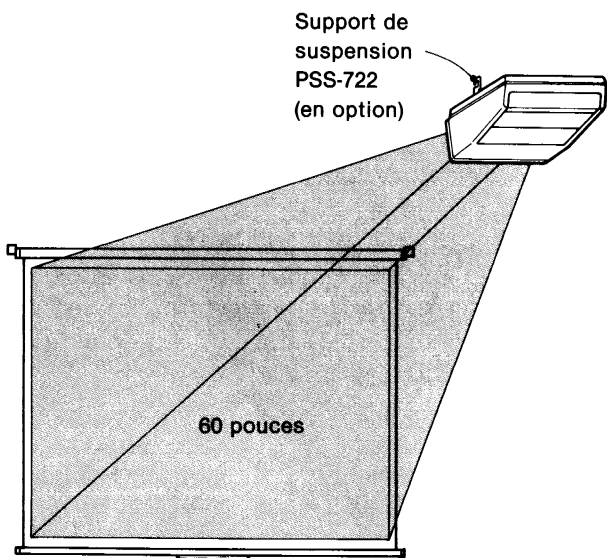
Si le même type d'installation doit être effectué ailleurs, à l'usage d'un écran de mêmes dimensions, le réajustement est inutile à condition que le projecteur soit installé convenablement.

Ajuster la hauteur et la longueur comme suit. sions de l'écran.

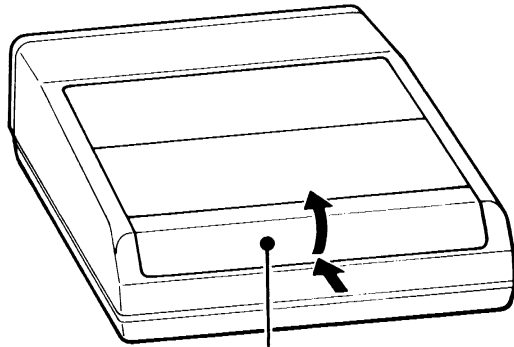


Pour transporter le projecteur, se servir de la mallette de transport VLC-722 (en option).

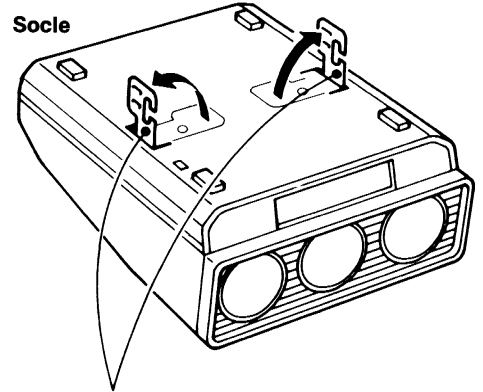
Plafond



EMPLACEMENT ET FONCTION DES COMMANDES



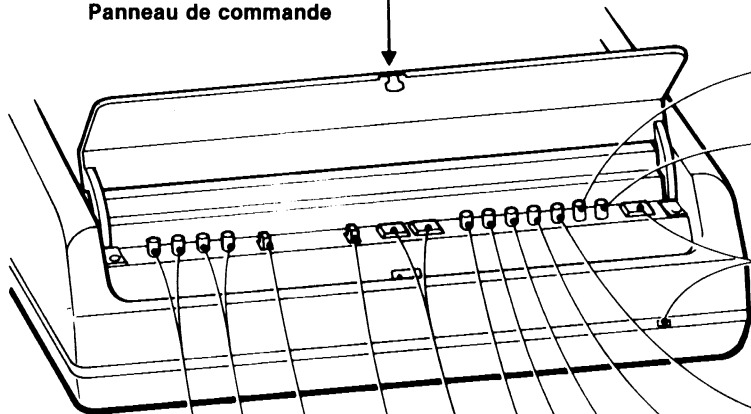
Pousser pour ouvrir.



Socle

Attaches de fixation du projecteur au support de suspension PSS-722

Panneau de commande



- ❶ Réglage d'image (PICTURE)
- ❷ Réglage de volume (VOLUME)
- ❸ Interrupteur et témoin de projecteur (PROJECTOR)
- ❹ Réglage de luminosité (BRIGHT)
- ❺ Réglage de netteté (SHARPNESS)
- ❻ Réglage de couleur (COLOR)
- ❼ Réglage de teinte (HUE)
- ❽ Réglage de stabilité verticale (V HOLD)
- ❾ Sélecteurs d'entrée (INPUT SELECT)
- ❿ Sélecteur de mode de bleu (BLUE MODE SELECT)
- ⓫ Sélecteur normal/essai (NORMAL/TEST)
- ⓬ Réglages de centrage vertical (V CENT)
- ⓭ Réglages de centrage horizontal (H CENT)

❶ Réglage d'image (PICTURE)

Pour ajuster simultanément le contraste, l'intensité chromatique et la luminosité dans un rapport convenable.

❷ Réglage de volume (VOLUME)

Pour ajuster l'intensité du volume.

❸ Interrupteur et témoin de projecteur (PROJECTOR)

Enfoncer pour mettre le projecteur sous tension. La lampe témoin de couleur verte s'allume. Pour couper l'alimentation, presser de nouveau.

❹ Réglage de luminosité (BRIGHT)

Pour ajuster la luminosité.

❺ Réglage de netteté (SHARPNESS)

Pour ajuster la netteté. La rotation dans le sens des aiguilles d'une montre procure une image nette. La rotation en sens inverse rend l'image plus douce.

❻ Réglage de couleur (COLOR)

Pour ajuster l'intensité chromatique. La rotation dans le sens des aiguilles d'une montre rend l'image plus vive. La rotation en sens inverse la rend plus pâle.

❼ Réglage de teinte (HUE)

Ce réglage est particulièrement efficace pour les programmes en système couleur NTSC et NTSC4.43. Il permet d'obtenir les tonalités de peau les plus naturelles possible. La rotation dans le sens des aiguilles d'une montre verdit les tonalités de peau tandis que la rotation en sens inverse les rend pourpres.

❽ Réglage de stabilité verticale (V HOLD)

Si l'image défile verticalement, ajuster ce réglage jusqu'à ce que l'image se stabilise.

❾ Sélecteurs d'entrée (INPUT SELECT)

Presser pour sélectionner la source de programme à projeter.

LINE: pour les entrées en provenance des connecteurs LINE IN.

RGB: pour les entrées en provenance des connecteurs RGB IN.

Le raccordement des signaux audio aux connecteurs LINE IN permet d'écouter une bande sonore.

❿ Sélecteur de mode de bleu (BLUE MODE SELECT)

Il n'est opérationnel que sur les entrées rouge/vert/bleu (RGB). Habituellement, le laisser sur NORMAL. Sélectionner la position BB (fond bleu) pour changer en bleu le fond noir de l'affichage et sur CB (bleu clair) pour éclaircir les zones bleues de l'affichage.

L'affichage devient ainsi plus facile à détailler.

⓫ Sélecteur normal/essai (NORMAL/TEST)

En conditions de fonctionnement normal, le laisser sur NORMAL pour projeter les entrées en provenance des connecteurs LINE IN ou RGB.

Régler sur TEST pour afficher sur l'écran la mire de réticules incorporée et faciliter ainsi les réglages de la position et de la coïncidence du projecteur.

⓬ Réglages de centrage vertical (V CENT)

Pour ajuster la coïncidence verticale du rouge et du bleu.

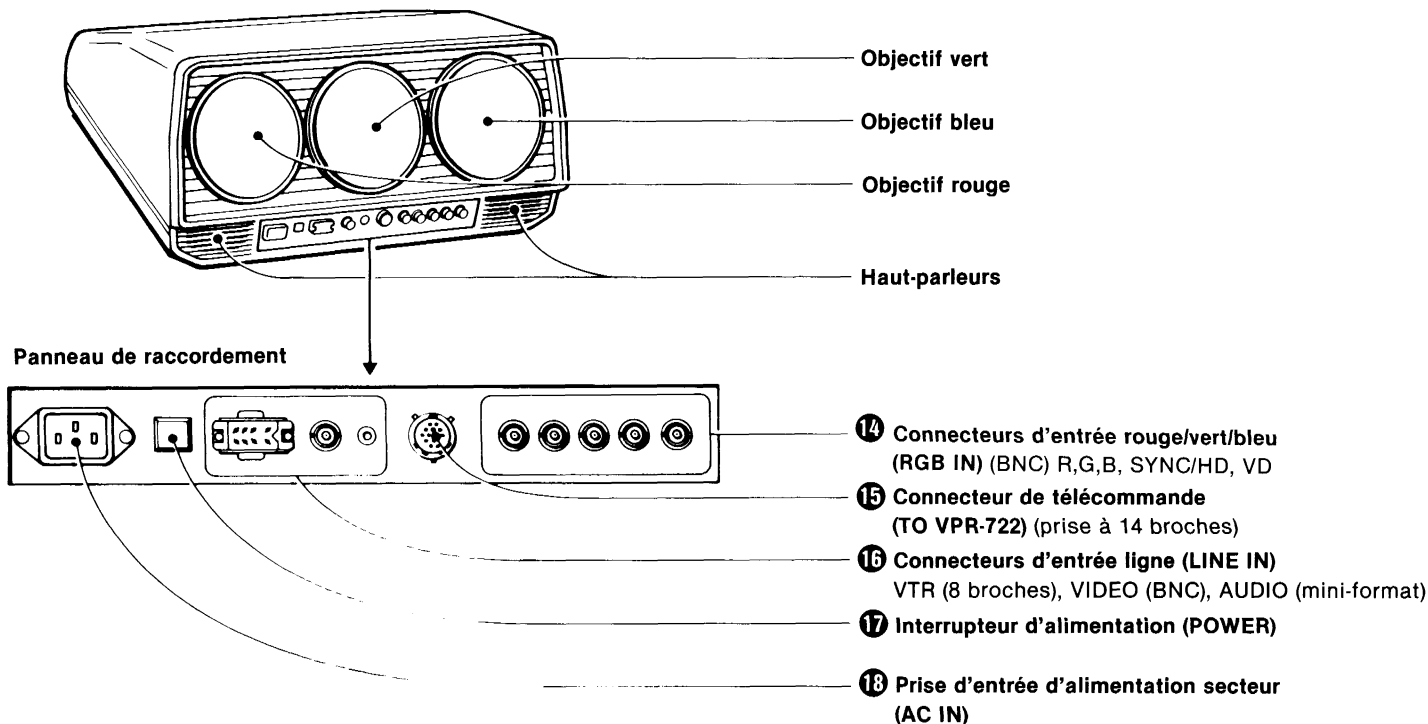
⓭ Réglages de centrage horizontal (H CENT)

Pour ajuster la coïncidence horizontale du rouge et du bleu.

Remarques

Les réglages ❺, ❻ et ❼ ne fonctionnent pas pour les entrées RGB.

Les commandes ❶ à ❿ ne fonctionnent pas si l'unité de télécommande est reliée au connecteur TO VPR-722. Les mêmes commandes sont disponibles sur la VPR-722.



14 Connecteurs d'entrée rouge/vert/bleu (RGB IN) (BNC)
Ils acceptent un générateur de caractères, un micro-ordinateur, une caméra vidéo ou un adaptateur spécial pour une exploitation future de vidéotexte/télétexte équipés de sorties RGB analogiques.
R, G, B: aux sorties RGB.
SYNC/HD: à une sortie de synchronisation composite ou de synchronisation horizontale.
VD: à une sortie de synchronisation verticale.

15 Connecteur de télécommande (TO VPR-722) (prise à 14 broches)
Pour commander à distance le projecteur, lorsqu'il est, par exemple, monté au plafond, connecter ici l'unité de télécommande VPR-722 (en option) au moyen du câble de raccordement CCQ (en option).

16 Connecteurs d'entrée ligne (LINE IN)
Ils acceptent un magnétoscope, une caméra vidéo, un récepteur/moniteur couleur, etc. équipés de sorties ligne vidéo/audio.
VTR (8 broches): au connecteur TV à 8 broches d'un magnétoscope.
VIDEO (BNC): à une sortie ligne vidéo.
AUDIO (mini-format): à une sortie ligne audio.
Précaution: Se servir soit du connecteur VTR, soit des connecteurs VIDEO/AUDIO, mais ne jamais les solliciter simultanément.
Ne jamais connecter un tuner TV ou un récepteur/moniteur couleur équipé d'un connecteur à 8 broches au connecteur VTR du projecteur, car l'attribution de leurs signaux est différente.

17 Interrupteur d'alimentation (POWER)
Enfoncer pour mettre l'appareil sous tension. Quand l'unité de télécommande VTR-722 est utilisée, l'alimentation lui est délivrée sur poussée de cet interrupteur.

18 Prise d'entrée d'alimentation secteur (AC IN)
La relier au moyen du cordon d'alimentation secteur à une prise secteur.

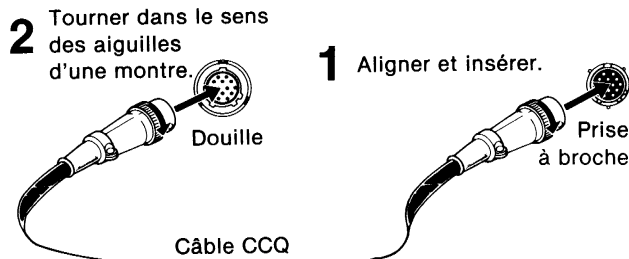
BRANCHEMENTS DU SYSTEME

REMARQUES SUR LES BRANCHEMENTS

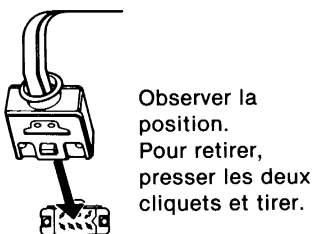
- S'assurer qu'aucun équipement n'est sous tension.
- Se servir des câbles de raccordement appropriés en fonction de l'équipement à connecter.
- Les connecteurs doivent être insérés à fond dans les prises. Un branchement lâche est susceptible de provoquer des bruits et des bourdonnements.

- Le câble doit s'étendre sur une longueur maximale de 50m. Si le câble de raccordement est trop long (plus de 50m), la qualité de l'image peut se dégrader.
- Toujours débrancher en tirant sur la fiche et non sur le câble.
- Lire le mode d'emploi de l'équipement à connecter au projecteur.

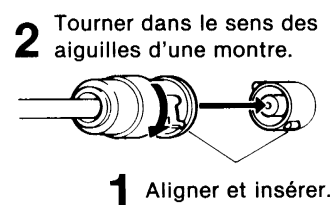
Connecteur à 14 broches



Connecteur à 8 broches

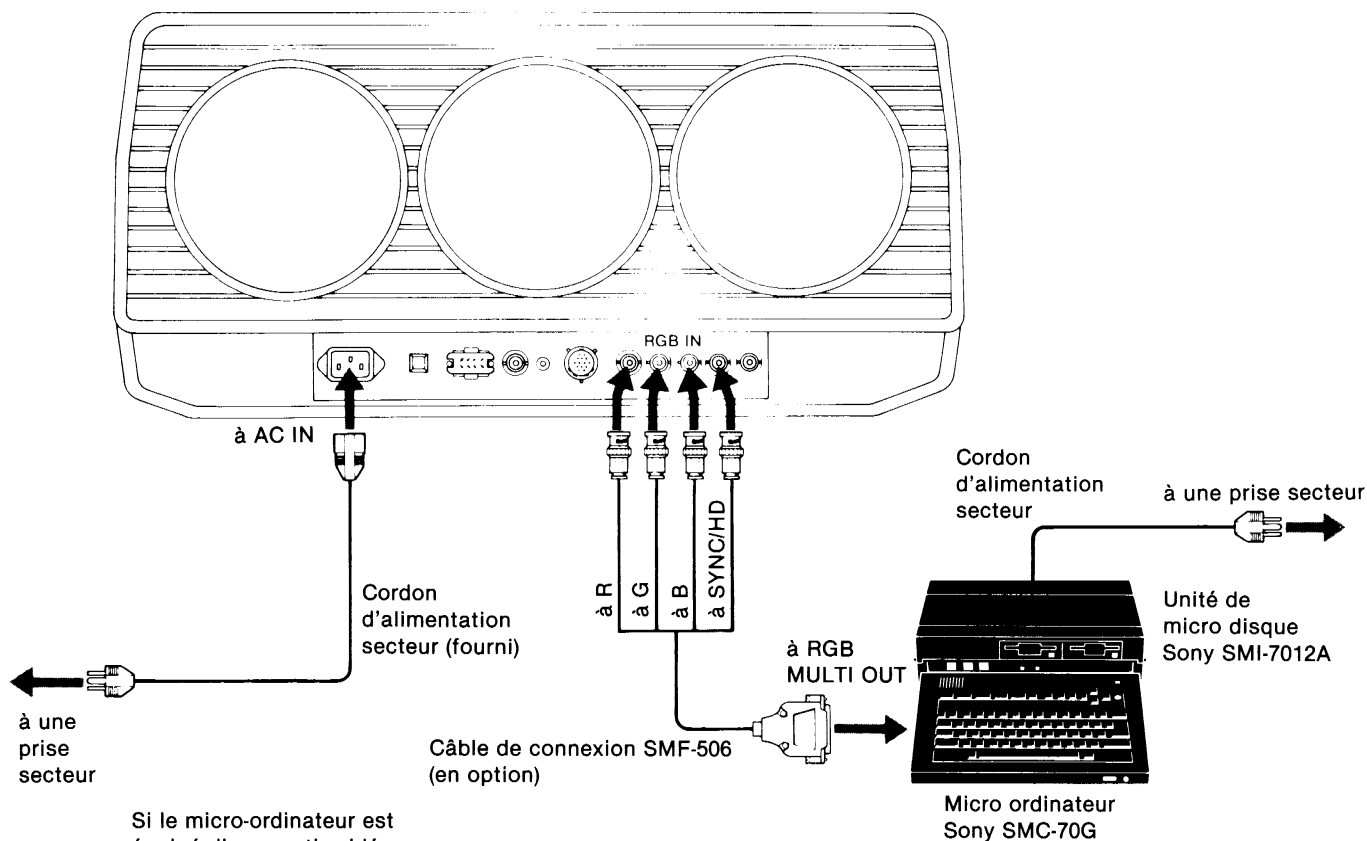


Connecteur BNC



A l'emploi du projecteur VPH-600Q avec un micro-ordinateur Sony

Pour éviter les interférences provenant de la radio ou d'un téléviseur, toujours utiliser le cordon d'alimentation secteur fourni et le câble de raccordement, disponible en option, tout comme décrit dans le schéma de connexion ci-dessous.

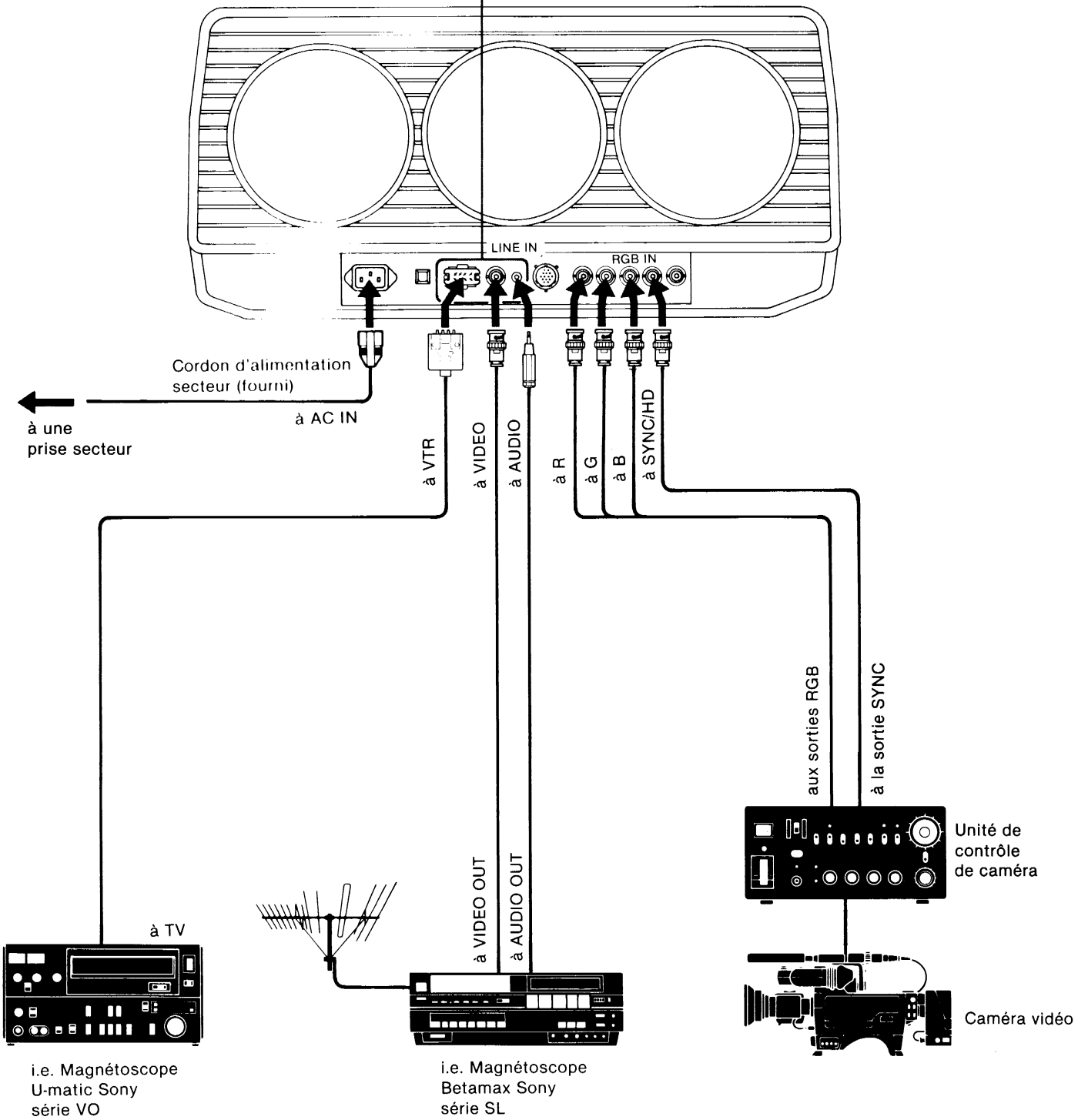


Si le micro-ordinateur est équipé d'une sortie vidéo composite, connecter la sortie au connecteur VIDEO LINE IN du projecteur.

EXEMPLES DE BRANCHEMENTS

A l'emploi du projecteur sans l'unité de télécommande VPR-722

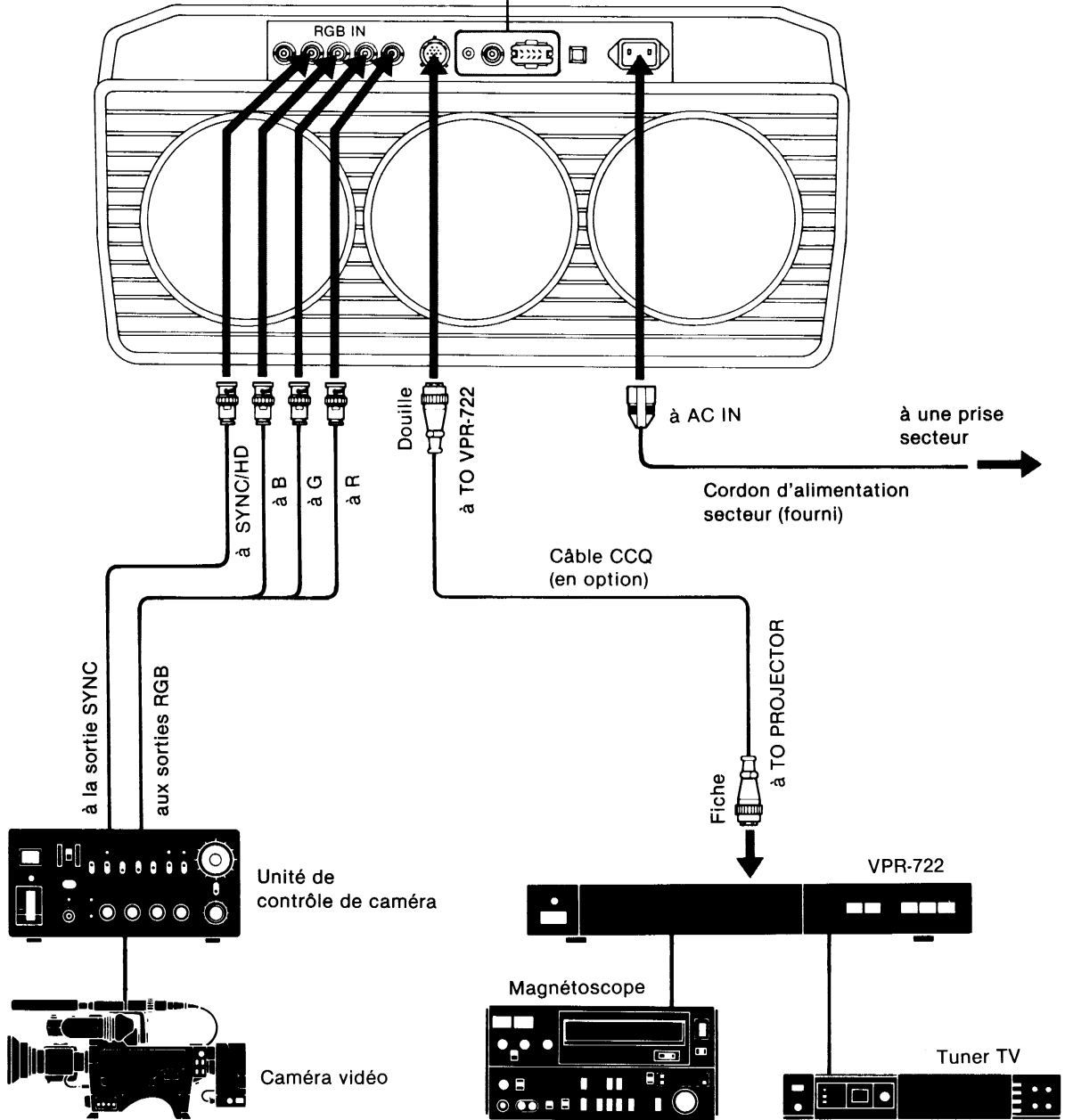
Ne pas solliciter les deux groupes de connecteurs simultanément.



A l'emploi du projecteur avec l'unité de télécommande VPR-722

Se servir de l'unité de télécommande VPR-722 (en option) quand le projecteur est installé au plafond ou à distance du point d'observation. Mise sous/hors tension, sélection des programmes et réglages de l'image pourront être commandés à distance.

A l'usage de l'unité de télécommande VPR-722, le branchement du magnétoscope, du tuner TV ou de la caméra vidéo, etc. doit s'effectuer sur la VPR-722 (et non pas aux connecteurs LINE IN du projecteur). Si des composants sont branchés à l'unité de télécommande et aux connecteurs LINE IN et sont utilisés simultanément, leurs signaux seront mixés et partant, une image nette ne pourra être obtenue.

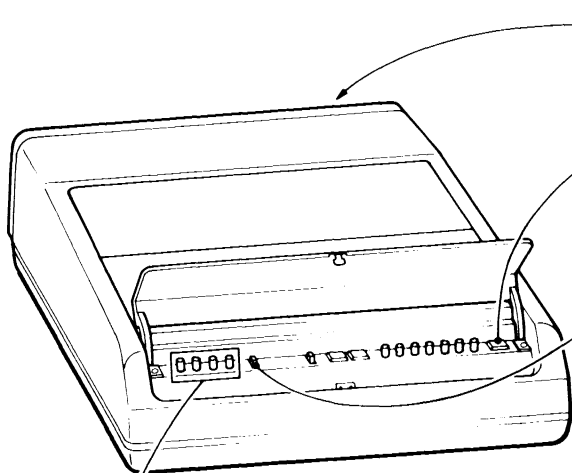


Pour un complément de détails sur les branchements, se reporter au mode d'emploi de la VPR-722.

REGLAGES DE POSITION ET DE COINCIDENCE

L'installation et les réglages préliminaires doivent être effectués par un personnel Sony qualifié.

Le fait d'installer le projecteur sur un dessus de bureau offre la possibilité de le déplacer facilement. En revanche, il pourra s'avérer nécessaire de réajuster la coïncidence.



- 1** Enclencher l'interrupteur POWER.
- 2** Enclencher l'interrupteur PROJECTOR.
Quand l'unité de télécommande VPR-722 est associée au projecteur, enclencher l'interrupteur PROJECTOR de l'unité de télécommande.
La lampe témoin verte s'allume.
- 3** Mettre le sélecteur NORMAL/TEST en position TEST.
La mire de réticules incorporée apparaît sur l'écran.
- 4** Veiller à ce que la mire d'essai soit centrée et correctement mise au point sur l'écran.
Si elle ne l'est pas, déplacer légèrement le projecteur pour que la mire d'essai apparaisse clairement.

- 5** S'assurer que les lignes rouge, verte et bleue convergent de manière à voir la mire en blanc.
Autrement, ajuster la coïncidence de la manière suivante:

Tourner ces réglages pour que les lignes verticales rouge et bleue convergent avec la ligne verte.

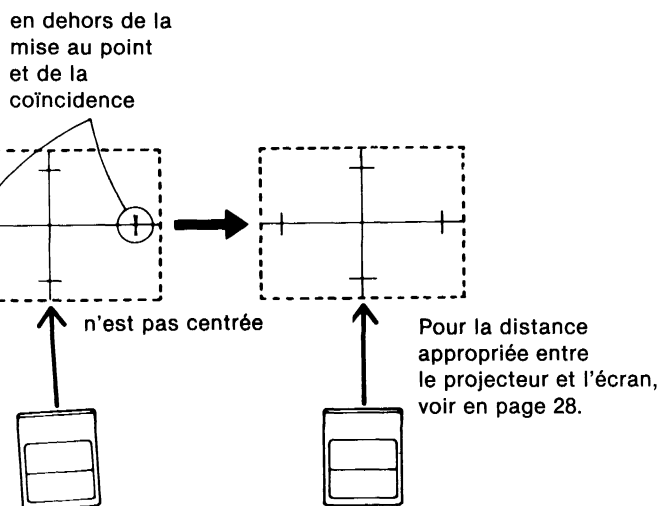


La rotation dans le sens des aiguilles d'une montre déplace la ligne respective à droite.

Tourner ces réglages pour que les lignes horizontales rouge et bleue convergent avec la ligne verte.



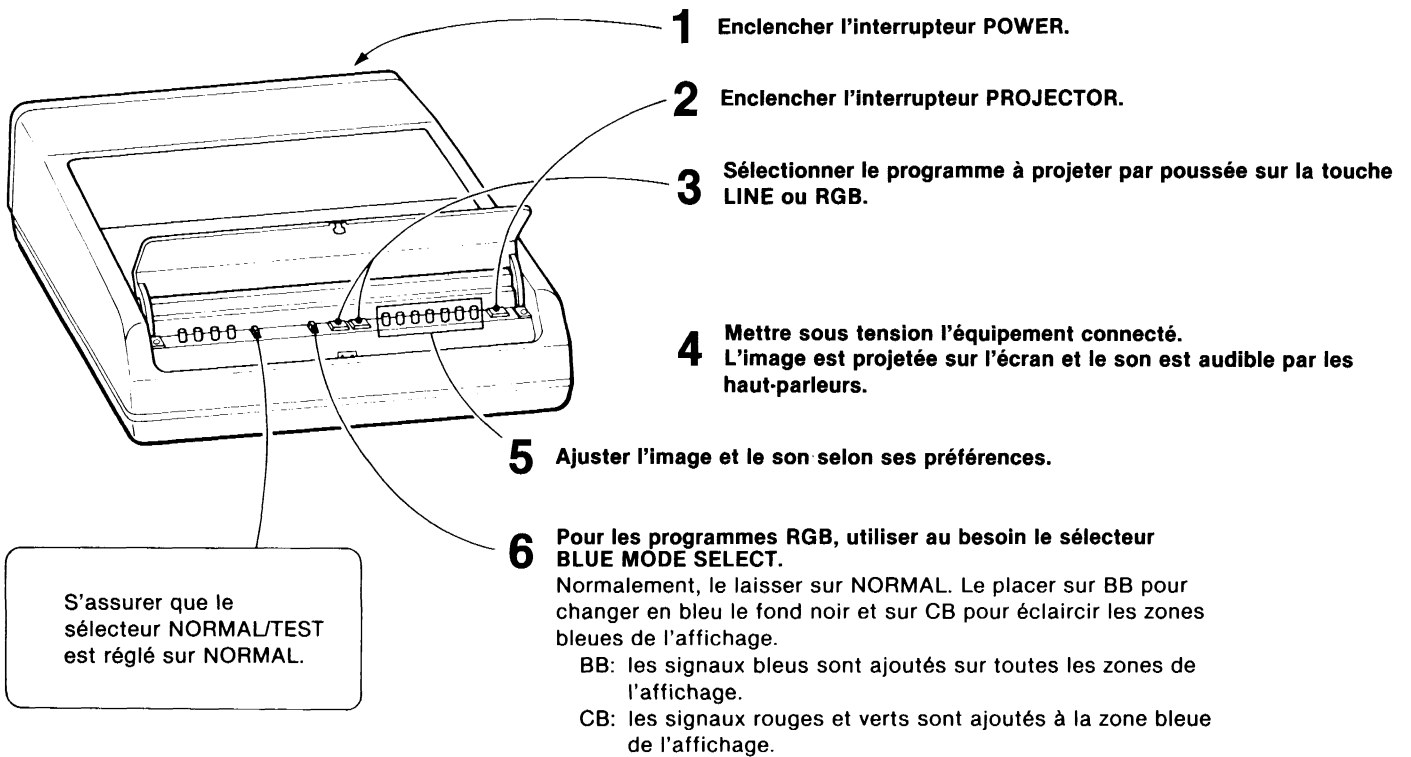
La rotation dans le sens des aiguilles d'une montre déplace la ligne respective vers le haut.



Répéter ces réglages jusqu'à ce que la mire apparaisse en blanc.

- 6** Après avoir accompli le réglage, mettre le sélecteur TEST/NORMAL sur NORMAL.

EXPLOITATION



Quand l'unité de télécommande VPR-722 est connectée, les démarches **2**, **3**, **5** et **6** doivent être accomplies sur l'unité de télécommande.

SPECIFICATIONS

Optique

Système de projection

Système de projection directe
3 tubes image, 3 objectifs

Tube image

Tubes monochromes, haute luminosité de 5,5 pouces avec refroidissement incorporé

Objectif de projection

Objectifs hybrides haute performance
F 1,0/130 mm

Format d'image projetée

60 pouces (standard)

Sortie d'éclairage

300 lumens

Distance d'observation

Env. 2 063 mm (81¹/₄ pouces)
Longueur dans le sens horizontal du projecteur à l'écran pour écran de 60 pouces

Généralités

Système couleur

Systèmes PAL, SECAM, NTSC et NTSC_{4.43}

Définition

(valeur typique)

à sélection automatique
Centre: 900 lignes TV (entrées RGB)

Entrées RGB

520 lignes TV (entrées ligne vidéo, NTSC)

Capacité d'affichage de caractères: 2 000 caractères (80 lettres × 25 lignes)
Fréquence horizontale: 15,75 kHz
Fréquence verticale: 50/60 Hz

Signal d'essai

Générateur de mire d'essai de réticules/quadrillage incorporé

Haut-parleur

Env. 5 × 9 cm (2 × 3⁵/₈ pouces), 2 unités

Alimentation

VPH-600QJ: Secteur 100V, 50/60 Hz

VPH-600Q: Secteur 120V, 50/60 Hz

VPH-600QM: Secteur 220–240V, 50/60 Hz

Consommation

VPH-600QJ: 165W (max.)

VPH-600Q: 165W (max.)

VPH-600QM: 155W (max.)

Dimensions hors tout

Env. 508 × 258 × 592 mm (l/h/p)
(20 × 10¹/₄ × 23³/₈ pouces)

avec les attaches enfoncées

Poids

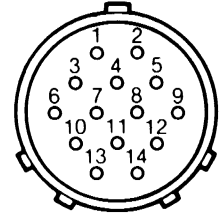
Env. 27 kg (59 livres 10 onces)

Entrées

Signal	Connecteur	Niveau de signal	Remarques
Entrée vidéo	[VTR] 8 broches (broches 2 et 6)	1V (c-c) ± 0,2 V	PAL/SECAM/ NTSC/NTSC _{4.43} 75 ohms synchro négative
	[VIDEO] connecteur BNC		
	[RGB IN] 5 connecteurs BNC	RGB non-composite: 0,7V (c-c) ± 0,15V Synchro: 0,3V (c-c) à 6V (c-c)	75 ohms, synchro négative
Entrée audio	[VTR] 8 broches (broches 1 et 5)	-5 dBs (436 mV efficace)	47 kohms
	[AUDIO] prise mini-format		

Connecteur TO VPR-722

Prise à 14 broches pour la connexion de la VPR-722



Numéro de broche	Signal	Numéro de broche	Signal
1	Masse	8	Choix d'entrée
2	+28V 60mA	9	Audio (réglage de volume inclus)
3	Teinte 1	10	Luminosité
4	Teinte 2	11	Netteté
5	Teinte 3	12	Couleur
6	Vidéo	13	Image
7	Masse (vidéo)	14	Mis sous tension: 12V Mis hors tension: 0V

Accessoire fourni

Cordon d'alimentation secteur (1)

Accessoires en option

Unité de télécommande VPR-722

Support de suspension de projecteur PSS-722, PSS-10

Mallette de transport VLC-722

Câbles de raccordement CCQ

Câble de raccordement SMF-506

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans préavis.

Diese Bedienungsanleitung gilt für die Modelle VPH-600QJ, 600Q und 600QM. Diese Modelle unterscheiden sich wie folgt.

Modell	VPH-600QJ	VPH-600Q	VPH-600QM
Werkseitig voreingestellte Betriebsspannung	100V Wechselspannung	120V Wechselspannung	220–240V Wechselspannung
Netzstecker	vorhanden	vorhanden	nicht vorhanden

INHALT

Besondere Merkmale	38
Vorsicht.....	38
Zur besonderen Beachtung	39
Installationsmöglichkeiten	40
Lage und Funktion der Bedienungselemente	41
Systemanschlüsse	44
Anschlußhinweise.....	44
Anschlußbeispiele.....	45
Positionierung und Farbdeckungseinstellungen.....	47
Betrieb.....	48
Technische Daten.....	49

BESONDERE MERKMALE

● Hohe 900-Zeilen-Auflösung

Die neuentwickelten Bildröhren, gekühlten Farbfilter, Zweifach-Fokussierlinsen-System und Hybridlinsen garantieren hohe Auflösung bei 900 Zeilen.

● 300 Lumen helles Bild

Die neuentwickelte Elektronenkanone und neue Phosphorelemente sorgen für außergewöhnliche Helligkeit.

● Hoher Kontrast

Die entspiegelten Schirme und Linsen minimieren Lichtreflexionen und sorgen somit für hohen Bildkontrast.

● Verschiedene Installationsmöglichkeiten

Der Projektor kann auf einem Tisch, auf dem Fußboden oder an der Wand installiert werden.

● Einteilig und bequem zu tragen

Netzteil und Steuerteil sind in einer kompakten, leicht zu transportierenden Einheit untergebracht.

● Die Umschaltung zwischen PAL-, SECAM-, NTSC- und NTSC_{4,43}*-Farbsystem erfolgt automatisch.

● RGB IN-Anschlüsse ermöglichen den Anschluß eines Mikrocomputers, einer Videokamera oder eines in Zukunft erhältlichen Videotext/Bildschirmtext-Spezialadapters mit analogen RGB-Ausgängen.

● BLUE MODE SELECT-Schalter zur Verbesserung der Abbildungsqualität von RGB-Programmquellen.

*Ein NTSC_{4,43}-Signalsystem erhält man, wenn nach NTSC bespielte Videobänder auf einem speziell für dieses System bestimmten Recorder wiedergegeben werden.

VORSICHT

Um Feuergefahr und elektrische Unfälle zu vermeiden, darf das Gerät weder Regen noch Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Im Inneren des Geräts befindet sich gefährliche Hochspannung. Öffnen Sie daher niemals das Gehäuse, und überlassen Sie Wartungsarbeiten stets einem Fachmann.

Dieses Gerät entspricht den gesetzlichen Vorschriften der Röntgenverordnung.

ZUR BESONDEREN BEACHTUNG

Zur Sicherheit

- Überprüfen Sie, daß die Betriebsspannung Ihres Geräts mit der örtlichen Netzspannung übereinstimmt. Ist eine Spannungsumstellung erforderlich, so wenden Sie sich an Ihren Sony-Händler.
- Sollte Flüssigkeit oder ein fester Gegenstand in das Gehäuse gelangen, so ziehen Sie den Netzstecker und lassen Sie das Gerät von einem Fachmann überprüfen, bevor Sie es weiter benutzen.
- Ziehen Sie den Netzstecker aus der Netzsteckdose oder stellen Sie den POWER-Schalter auf OFF, wenn das Gerät einige Tage nicht benutzt wird.
- Zum Abziehen des Kabels fassen Sie stets am Stecker und niemals am Kabel an.

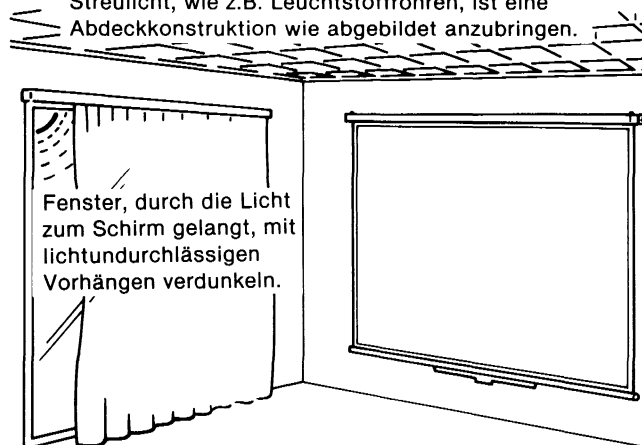
Zur Aufstellung

- Sorgen Sie für ausreichende Luftzirkulation, um einen Hitzestau im Inneren zu vermeiden. Stellen Sie das Gerät nicht auf Teppichen, Decken usw. und auch nicht in der Nähe von Vorhängen, Wandbehängen usw. auf, da sonst die Ventilationsöffnungen blockiert werden könnten. Stellen Sie sicher, daß die Wärme zur Decke hin entweichen kann und die Temperatur am Aufstellort nicht übermäßig hoch wird.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizungen und Warmluftauslässen auf, und meiden Sie Plätze, die direktem Sonnenlicht, übermäßigem Staub, Feuchtigkeit, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt sind.

Zur Beleuchtung

Um ein klares Bild zu erhalten, darf kein Licht (Sonnenlicht usw.) direkt von vorne auf den Bildschirm fallen.

Empfehlenswert ist eine an der Decke montierte Punktleuchte. Bei Lichtquellen mit starkem Streulicht, wie z.B. Leuchtstoffröhren, ist eine Abdeckkonstruktion wie abgebildet anzubringen.



Der Projektor sollte möglichst in einem Raum aufgestellt werden, dessen Boden und Wände aus nicht-reflektierendem Material bestehen. Gegebenenfalls sind ein dunkler Teppich und dunkle Tapeten zu verwenden.

Zur Reinigung

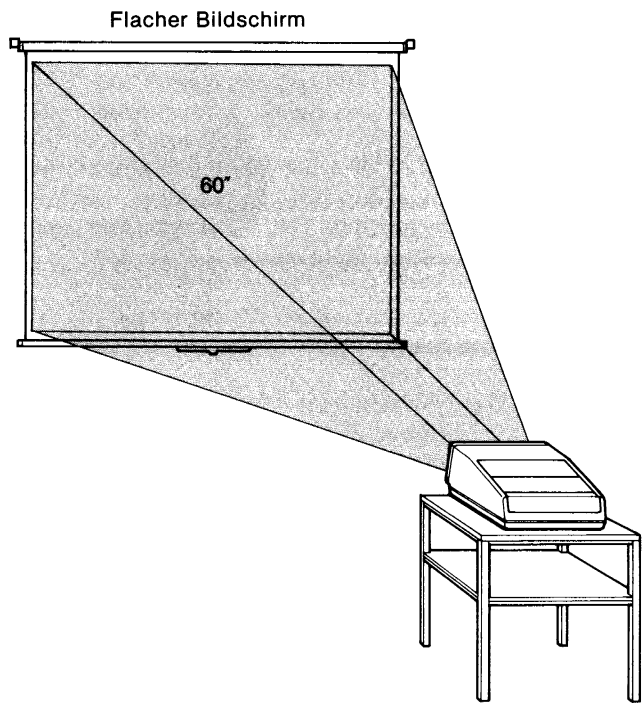
- Um das Gehäuse stets wie neu aussehen zu lassen, reinigen Sie es regelmäßig mit einem weichen Tuch. Zur Entfernung von hartnäckigen Flecken verwenden Sie ein leicht mit milder Reinigungslösung angefeuchtetes Tuch. Starke Lösungsmittel wie Verdünner oder Benzin sowie Scheuermittel sind nicht zu verwenden, da sie das Gehäuse angreifen.
- Berühren Sie die Objektive nicht. Zur Entstaubung der Objektive verwenden Sie ein weiches, trockenes Tuch. Ein angefeuchtetes Tuch, Reinigungslösungen oder Verdünner dürfen nicht verwendet werden.

Zur Wiederverpackung

Bewahren Sie Verpackungskarton und Verpackungsmaterial auf; beides wird sehr nützlich sein, wenn Sie das Gerät transportieren müssen. Für optimalen Schutz verpacken Sie das Gerät wieder genau so, wie es ursprünglich werkseitig verpackt war.

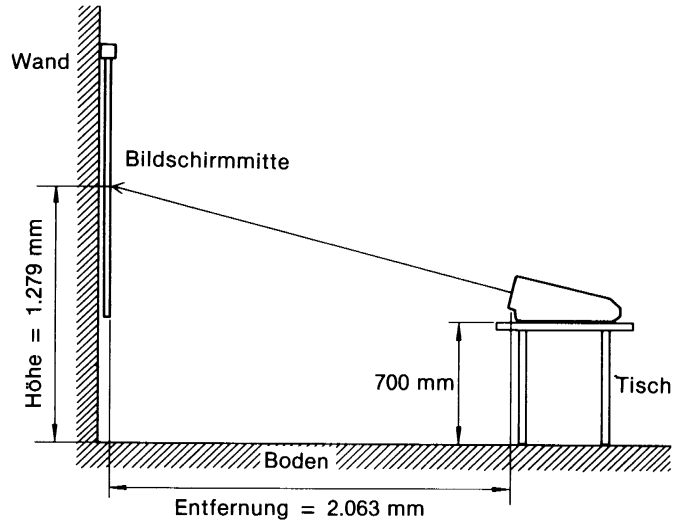
INSTALLATIONSMÖGLICHKEITEN

Tisch

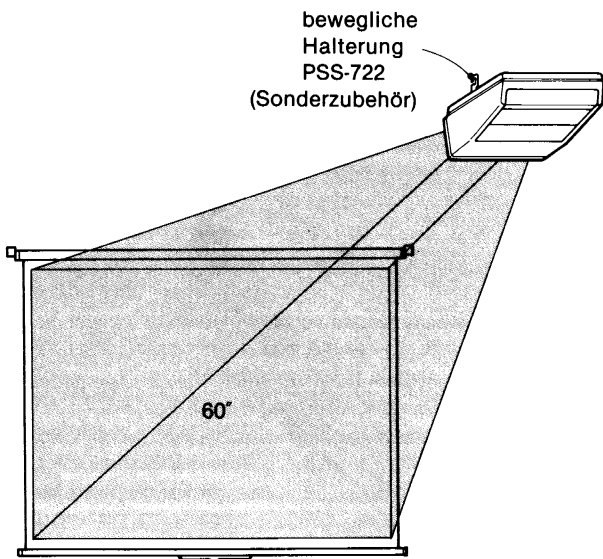


Wird der Projektor auf die gleiche Art an einem anderen Ort aufgestellt und wird ein Bildschirm gleicher Größe gewählt, so ist kein erneuter Abgleich erforderlich. Es ist jedoch auf exakte Positionierung zu achten.

Stellen Sie die Höhe und Entfernung wie folgt ein.



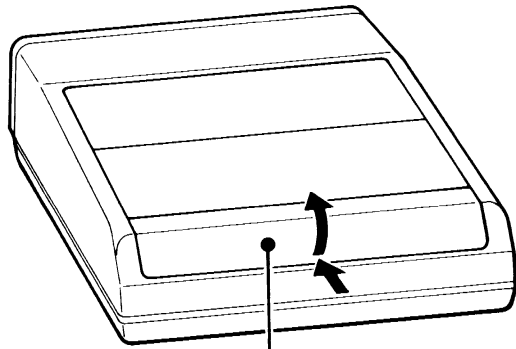
Decke



Zum Transport des Projektors verwenden Sie den Tragekoffer VLC-722 (Sonderzubehör).

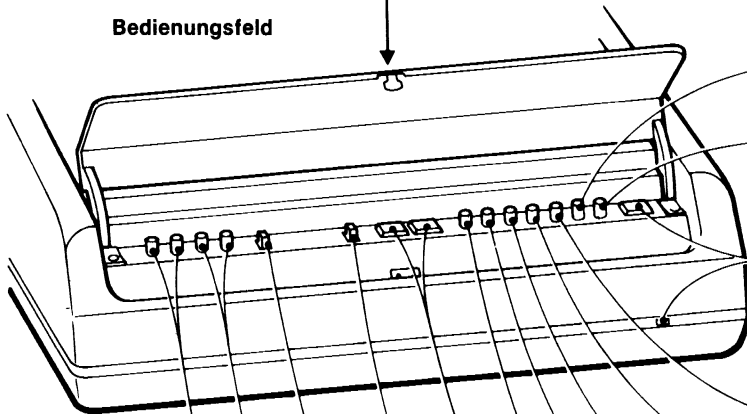


LAGE UND FUNKTION DER BEDIENUNGSELEMENTE

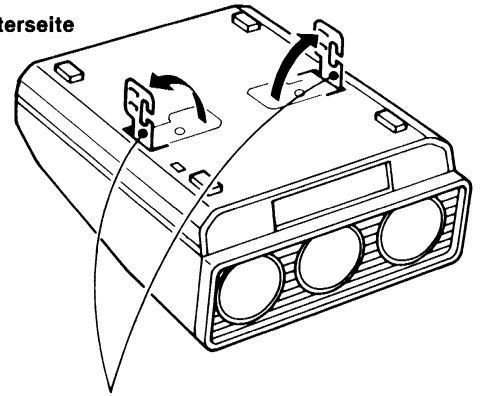


Zum Öffnen drücken.

Bedienungs-feld



Unterseite



Halterungen zur Befestigung des Projektors an der beweglichen Halterung PSS-722.

- 1 Bildregler [PICTURE]
- 2 Lautstärkeregler [VOLUME]
- 3 Projektorschalter [PROJECTOR] und Kontroll-Indikator
- 4 Helligkeitsregler [BRIGHT]
- 5 Schärferegler [SHARPNESS]
- 6 Farbregler [COLOR]
- 7 Farbtonregler [HUE]
- 8 Vertikaler Bildfangregler [V HOLD]
- 9 Eingangswahltasten [INPUT SELECT]
- 10 Blau-Wahlschalter [BLUE MODE SELECT]
- 11 NORMAL/TEST-Schalter
- 12 Vertikalzentrierregler [V CENT]
- 13 Horizontalzentrierregler [H CENT]

❶ Bildregler [PICTURE]

Hier können Kontrast, Farbintensität und Helligkeit gleichzeitig und im richtigen Verhältnis zueinander eingestellt werden.

❷ Lautstärkeregler [VOLUME]

Zur Einstellung der Lautstärke.

❸ Projektorschalter [PROJECTOR]

Zum Einschalten des Projektors drücken. Der grüne Kontroll-Indikator leuchtet dann auf. Zum Ausschalten drücken Sie erneut.

❹ Helligkeitsregler [BRIGHT]

Zur Einstellung der Helligkeit.

❺ Schärferegler [SHARPNESS]

Zur Einstellung der Schärfe. Durch Drehen nach rechts wird das Bild schärfer; durch Drehen nach links wird es unschärfer.

❻ Farbregler [COLOR]

Zur Einstellung der Farbintensität. Durch Drehen nach rechts wird die Farbe intensiver; durch Drehen nach links wird sie schwächer.

❼ Farbtonregler [HUE]

Dieser Regler arbeitet nur bei Programmquellen nach dem NTSC- oder NTSC_{4,43}-Farbsystem. Der Regler ist so einzustellen, daß man möglichst natürliche Hauttöne erhält. Durch Drehen nach rechts werden die Hauttöne grünlich; durch Drehen nach links werden sie purpurfarben.

❽ Vertikaler Bildfangregler [V HOLD]

Läuft das Bild vertikal durch, so stabilisieren Sie es mit diesem Regler.

❾ Eingangswahltasten [INPUT SELECT]

Hier wird die zu projizierende Programmquelle gewählt.
LINE: Für Eingangssignale an den LINE IN-Buchsen.
RGB: Für Eingangssignale an den RGB IN-Buchsen.
Wenn Tonsignale an den LINE IN-Buchsen angeschlossen werden, so sind diese zu hören.

❿ Blau-Wahlschalter [BLUE MODE SELECT]

Dieser Schalter arbeitet nur bei RGB-Eingangssignalen. Stellen Sie ihn normalerweise auf NORMAL. Um den schwarzen Bildhintergrund blau zu färben, stellen Sie ihn auf BB (blue background); um blaue Bildteile heller zu machen, stellen Sie ihn auf CB (clear blue). Das Bild ist dann besser zu erkennen.

⓫ NORMAL/TEST-Schalter

Um die Eingangssignale der LINE IN- oder RGB-Buchsen abzubilden, normalerweise auf NORMAL stellen.

Wird der Schalter auf TEST gestellt, so erscheint ein Fadenkreuzmuster auf dem Schirm und die Positionierung sowie die Farbdeckungseinstellung des Projektors kann leicht durchgeführt werden.

⓬ Vertikalzentrierregler [V CENT]

Zur Einstellung der vertikalen Farbdeckung von rot und blau.

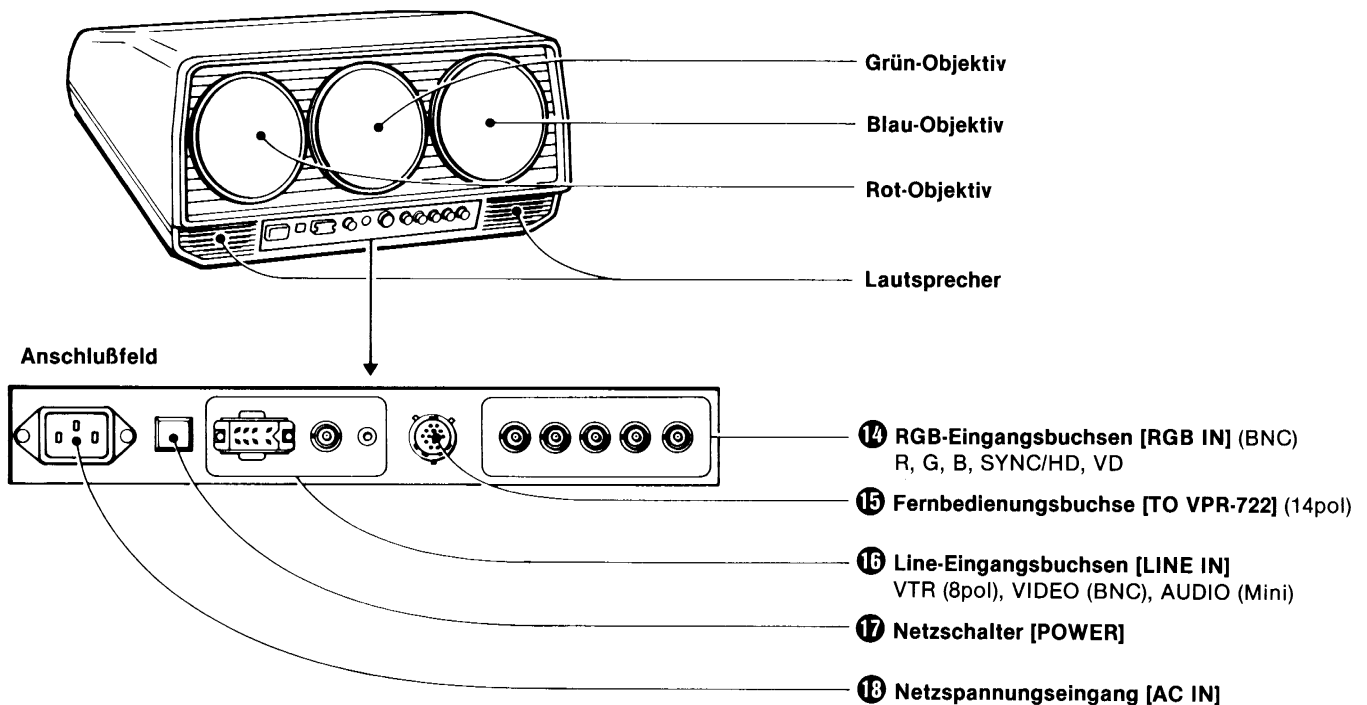
⓭ Horizontalzentrierregler [H CENT]

Zur horizontalen Farbdeckungseinstellung von rot und blau.

Hinweise

Regler ❺ ❻ ❼ arbeiten nicht bei RGB-Eingangssignalen.

Regler ❶ bis ❿ arbeiten nicht, wenn die Fernsteuereinheit VPR-722 an der REMOTE-Buchse angeschlossen ist. Die Bedienung erfolgt dann an den betreffenden Reglern der VPR-722.



14 RGB-Eingangsbuchsen [RGB IN] (BNC)

Zum Anschluß eines Zeichengenerators, eines Mikrocomputers, einer Videokamera oder eines Videotext/Bildschirmtext-Spezialadapters mit analogen RGB-Ausgängen.

R,G,B: An RGB-Ausgänge.

SYNC/HD: An FBAS- oder Horizontalsynchronsignal-
ausgang.

VD: An Vertikalsynchronsignalausgang.

15 Fernbedienungsbuchse [TO VPR-722] (14pol)

Um den Projektor beispielsweise bei Deckenmontage fernbedienen zu können, schließen Sie hier über das CCQ-Verbindungskabel (Sonderzubehör) die Fernbedieneinheit VPR-722 (Sonderzubehör) an.

16 Line-Eingangsbuchsen [LINE IN]

Zum Anschluß eines Videorecorders, einer Videokamera, eines Farb-Fernsehempfängers/Monitors usw. mit Video/Audio-Line-Ausgängen.

VTR (8pol): An einen 8pol TV-Anschluß eines Videorecorders.

VIDEO (BNC): An einen Video-Line-Ausgang.

AUDIO (Mini): An einen Audio-Line-Ausgang.

Achtung: Verwenden Sie entweder die VTR- oder VIDEO/AUDIO-Buchsen, aber nicht beide gleichzeitig. Schließen Sie keinen TV-Tuner und auch keinen Farbfernsehempfänger/Monitor mit 8pol-Anschluß an den VTR-Anschluß an, da die Signalbelegung unterschiedlich ist.

17 Netzschalter [POWER]

Zum Einschalten drücken. Wenn die Fernbedieneinheit VPR-722 verwendet wird, so wird diese mit Strom versorgt.

18 Netzspannungseingang [AC IN]

Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel hier und an einer Netzsteckdose an.

SYSTEMANSCHLÜSSE

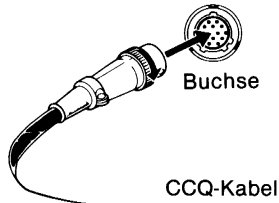
ANSCHLUSSHINWEISE

- Stellen Sie zunächst sicher, daß alle Geräte ausgeschaltet sind.
- Verwenden Sie je nach anzuschließenden Geräten geeignete Verbindungskabel.
- Die Kabelstecker sind fest in die Buchsen einzustecken. Lockere Verbindungen können Brummen und Rauschen verursachen.

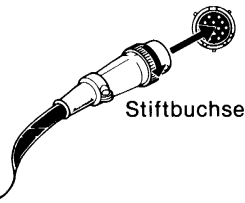
- Das Kabel kann bis auf max. 50 m verlängert werden. Ist das Verbindungskabel zu lang (länger als 50 m), so verschlechtert sich die Bildqualität etwas.
- Zum Abziehen der Kabel fassen Sie stets am Stecker und niemals am Kabel selbst an.
- Lesen Sie die Bedienungsanleitung des anzuschließenden Geräts.

14pol-Anschluß

2 Nach rechts drehen.



1 Ausrichten und einstecken.



8pol-Anschluß



Auf richtige Position achten. Zum Herausziehen die beiden Arretierungen drücken.

BNC-Anschluß

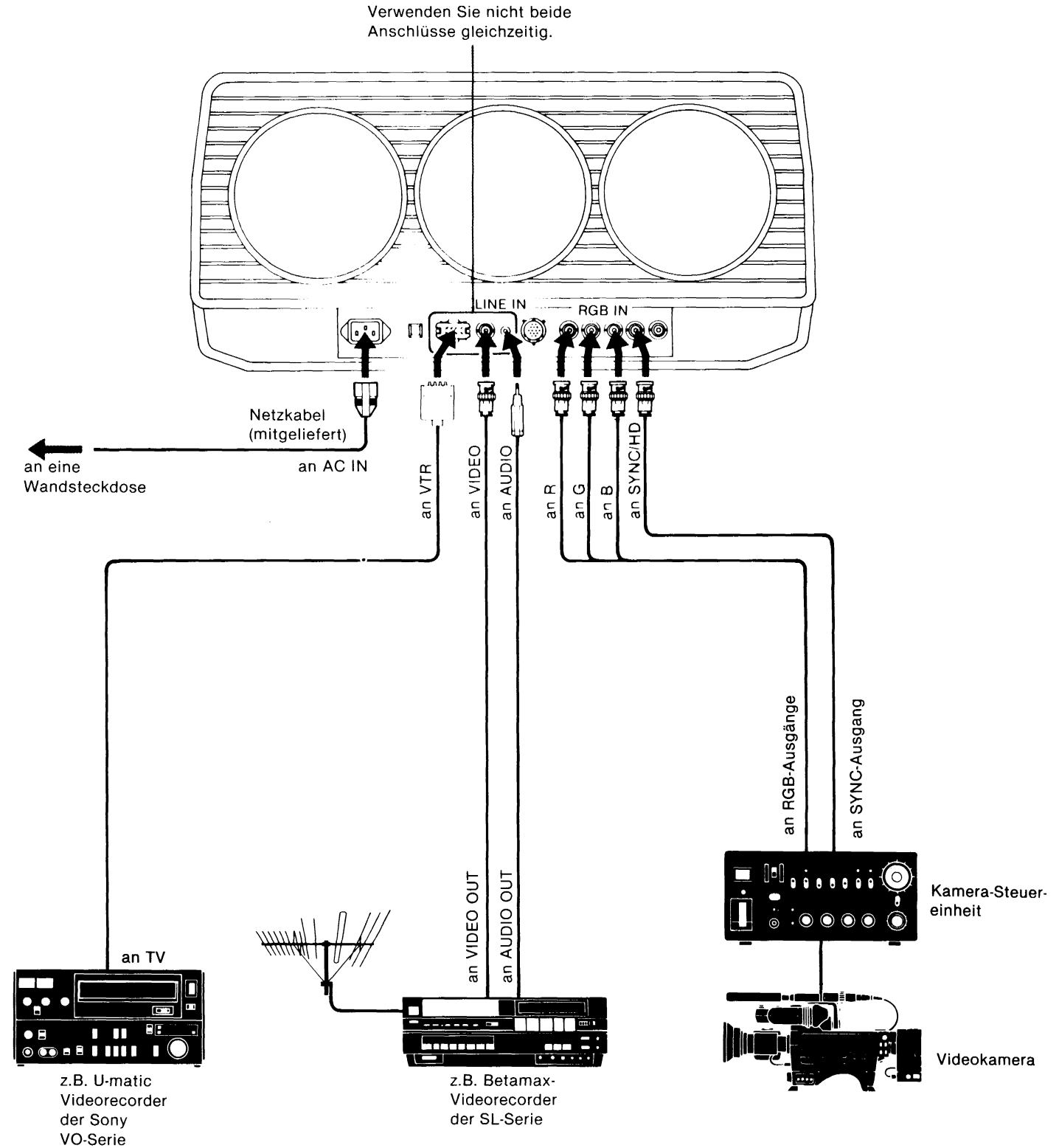
2 Nach rechts drehen.



1 Ausrichten und einstecken.

ANSCHLUSSBEISPIELE

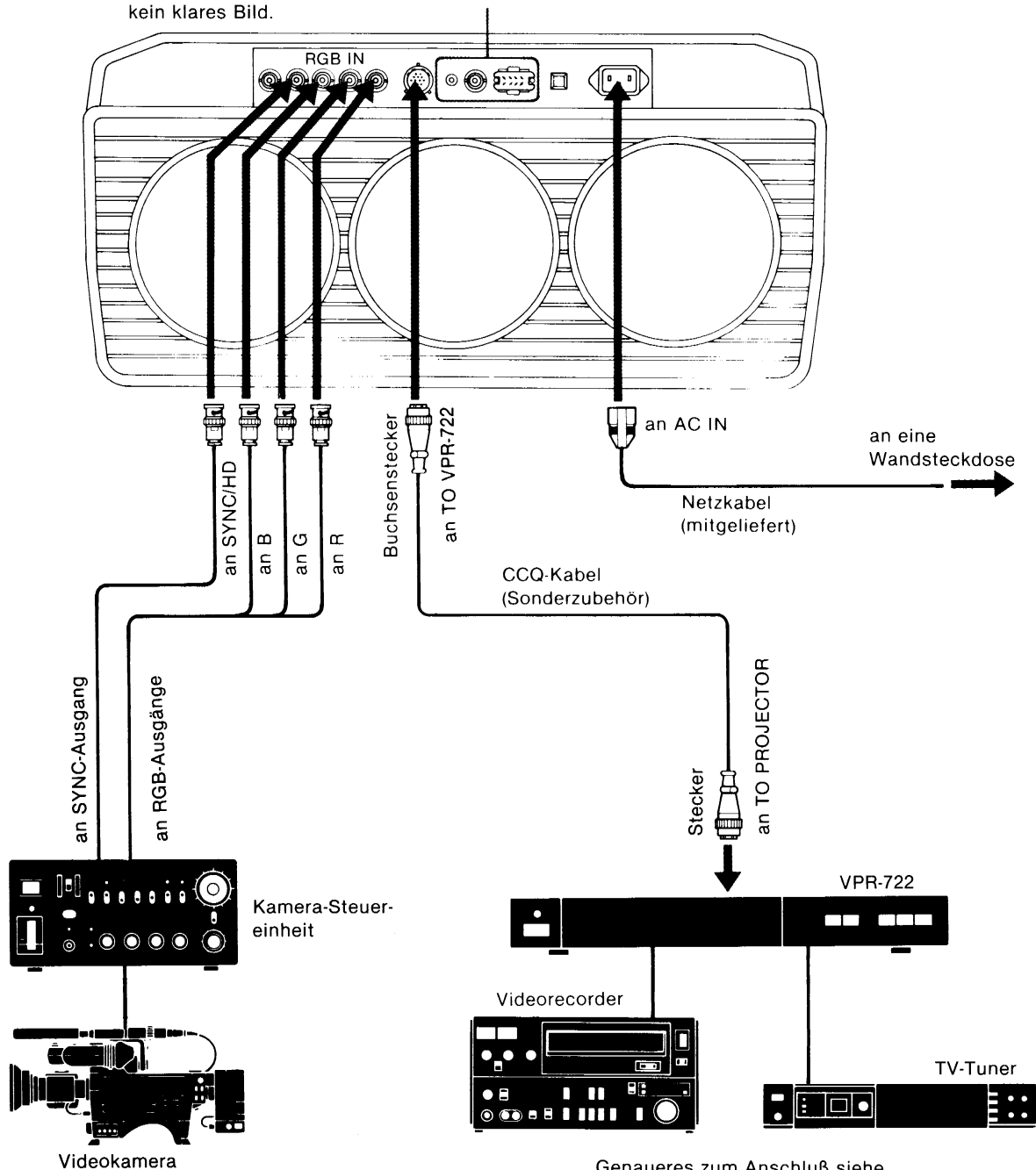
Verwendung des Projektors ohne Fernbedieneinheit VPR-722



Verwendung des Projektors mit der Fernbedieneinheit VPR-722

Verwenden Sie die als Sonderzubehör lieferbare Fernbedieneinheit VPR-722, wenn sich der Projektor an der Decke oder von Ihrem Sitzplatz weit entfernt befindet. Ein/Ausschaltung, Programmwahl und Bildeinstellungen können dann fernbedient werden.

Bei Verwendung der Fernbedieneinheit VPR-722 ist der Videorecorder, der TV-Tuner, die Videokamera usw. an die Fernbedieneinheit (nicht an die LINE IN-Buchsen) anzuschließen. Wird sowohl an die Fernbedieneinheit als auch an die LINE IN-Buchsen etwas angeschlossen, so werden die Signale gemischt und man erhält kein klares Bild.

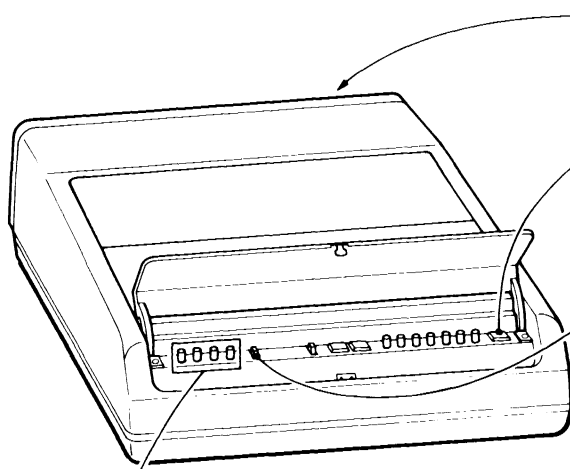


Genauer zum Anschluß siehe Bedienungsanleitung der VPR-722.

POSITIONIERUNG UND FARBDECKUNGSEINSTELLUNGEN

Aufstellung und Voreinstellungen sollten von einem Sony-Fachmann durchgeführt werden.

Wird der Projektor unter Verwendung des Gestells auf dem Tisch aufgestellt, so kann er zwar leicht bewegt werden, möglicherweise ist jedoch eine Neueinstellung der Farbdeckung erforderlich.



- 1 POWER-Schalter einschalten.**
- 2 PROJECTOR-Schalter einschalten.**
Wird die Fernbedieneinheit VPR-722 zusammen mit dem Projektor verwendet, so schalten Sie den PROJECTOR-Schalter der VPR-722 ein. Der grüne Kontroll-Indikator leuchtet dann auf.
- 3 NORMAL/TEST-Schalter auf TEST stellen.**
Das eingebaute Fadenkreuzmuster wird dann abgebildet.
- 4 Überprüfen, daß das Fadenkreuzmuster in der Mitte des Bildschirms liegt und scharf abgebildet wird.**
Falls nicht, verschieben Sie den Projektor etwas, bis das Muster klar abgebildet wird.

- 5 Sicherstellen, daß sich die roten, grünen und blauen Linien überdecken, so daß das Muster weiß erscheint.**
Falls nicht, stellen Sie die Farbdeckung wie folgt ein:

Diese Regler so einstellen, daß sich die roten und blauen vertikalen Linien mit der grünen Linie decken.



Durch Drehen nach rechts wird die entsprechende Linie nach rechts verschoben.

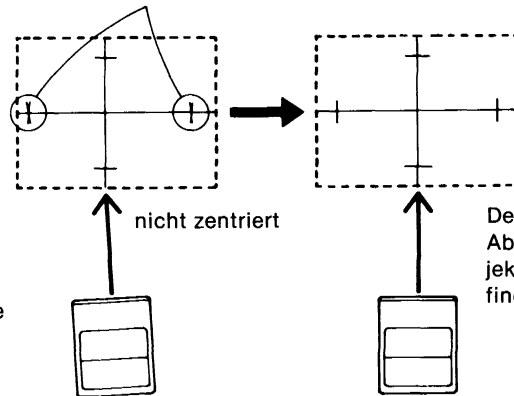
Diese Regler so einstellen, daß sich die roten und blauen vertikalen Linien mit der grünen Linie decken.



Durch Drehen nach rechts wird die entsprechende Linie nach oben verschoben.

Wiederholen Sie diese Einstellung, bis das Muster weiß erscheint.

schlechte Schärfe und Farbdeckung

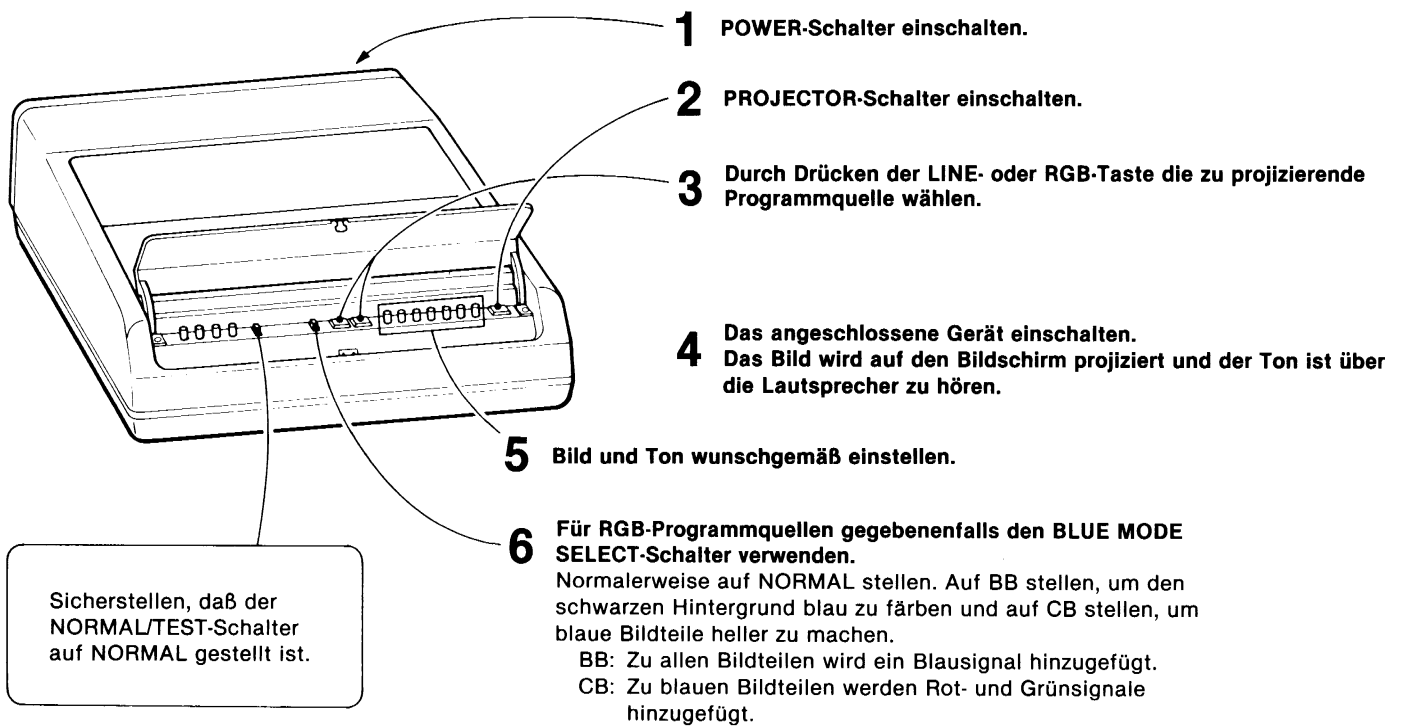


nicht zentriert

Den ungefähren Abstand zwischen Projektor und Bildschirm finden Sie auf Seite 40.

- 6 Nach beendeter Einstellung den TEST/NORMAL-Schalter auf NORMAL stellen.**

BETRIEB



Wenn die Fernbedieneinheit VPR-722 verwendet wird, so sind die Schritte **2**, **3**, **5** und **6** an der Fernbedieneinheit auszuführen.

TECHNISCHE DATEN

Optische Daten

Projektionssystem	3 Bildröhren, 3 Objektive, Direktprojektionssystem
Bildröhren	5,5-Zoll-Monochrom-Röhren hoher Helligkeit mit eingeschlossener Kühlfüssigkeit
Projektionsobjektive	hochwertige Hybridobjektive f 1,0/130 mm
Größe des Projektionsbildes	60 Zoll (Standard)
Lichtstärke	300 Lumen
Projektionsabstand	ca. 2.063 mm Horizontalentfernung vom Projektor zum Bildschirm bei einem 60-Zoll-Schirm

Allgemeine Daten

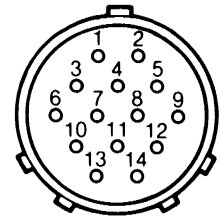
Farbsystem	PAL, SECAM, NTSC und NTSC _{4,43} (automatische Umschaltung)
Auflösung (typischer Wert)	Mitte: 900 TV-Zeilen (RGB-Eingänge) 520 TV-Zeilen (Video-Line-Eingänge, NTSC)
RGB-Eingänge	Zeichen-Anzeigekapazität: 2000 Zeichen (80 Zeichen × 25 Zeilen) Horizontalfrequenz: 15,75 kHz Vertikalfrequenz: 50/60 Hz Fadenkreuz/Gittermuster-Testsignalgenerator eingebaut
Testsignal	ca. 5 × 9 cm, zwei Einheiten
Lautsprecher	VPH-600QJ: 100V Wechselspannung, 50/60 Hz
Stromversorgung	VPH-600Q: 120V Wechselspannung, 50/60 Hz VPH-600QM: 220–240V Wechselspannung, 50/60 Hz
Leistungsaufnahme	VPH-600QJ: 165W (max.) VPH-600Q: 165W (max.) VPH-600QM: 155W (max.)
Abmessungen	ca. 508 × 258 × 592 mm (B/H/T) bei eingedrückten Halterungen, einschließlich vorspringender Teile und Regler
Gewicht	ca. 27 kg

Eingänge

Signal	Anschluß	Signalpegel	Bemerkungen
Video-Eingang	[VTR] 8pol (Stifte 2 u. 6)	1 V _{ss} ±0,2 V	PAL/SECAM/NTSC/NTSC _{4,43} 75 Ohm, negative Synchr.
	[VIDEO] BNC-Buchse		
	[RGB IN] 5 BNC-Buchsen	FBA-Signal RGB: 0,7 V _{ss} ±0,15 V Sync: 0,3 V _{ss} bis 6 V _{ss}	75 Ohm, negative Synchr.
Audio-Eingang	[VTR] 8pol (Stifte 1 u. 5)	-5 dBs (436 mVeff)	47 kOhm
	[AUDIO] Minibuchse		

TO VPR-722-Anschluß

14pol-Stiftbuchse zum Anschluß der Fernbedieneinheit VPR-722



Stift-Nr.	Signal	Stift-Nr.	Signal
1	Masse	8	Eingangswahl
2	+ 28V 60mA	9	Audio (einschließlich Lautstärkeregelung)
3	Farbton 1	10	Helligkeit
4	Farbton 2	11	Schärfe
5	Farbton 3	12	Farbe
6	Video	13	Bild
7	Masse (Video)	14	Stromversorgung Ein: 12 V Aus: 0 V

Mitgeliefertes Zubehör

- Netz Kabel (1)
- Getrennt lieferbare Geräte/Teile
- Fernbedieneinheit VPR-722
- Bewegliche Halterung PSS-722, PSS-10
- Tragekoffer VLC-722
- CCQ-Kabel
- Verbindungskabel SMF-506

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

